

- 問1 5世紀中頃に造られた日本最大の面積を誇る大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）の所在地について、日本列島を4つの地域に分けたとき、この古墳が位置する場所を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）
1. 中尊寺金色堂などの文化遺産がある、東北地方（岩手県付近）
 2. 富士山が位置する、中部地方（静岡県付近）
 3. 百舌鳥・古市古墳群が広がる、近畿地方（大阪府付近）
 4. 屋久島などの自然遺産がある、九州地方南端（鹿児島県付近）
- 問2 古墳が作られていた時代に、中国大陆や朝鮮半島から移り住んできた人々が果たした役割について、技術や文化の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 岡山公立入試 類似）
1. 須恵器の製作技術や金属加工、漢字、仏教などの高度な文化・技術を伝えた。
 2. 唐の優れた制度や文化を直接日本へ持ち帰るため、定期的に使節として派遣された。
 3. 鉄砲やキリスト教を日本に伝え、ヨーロッパとの貿易（南蛮貿易）を主導した。
 4. 九州北部の防備にあたるとともに、防人として東国から徴集された。
- 問3 5世紀、ヤマト王権の首長たちは「倭の五王」として中国の南朝へ使者を派遣し、朝貢を行いました。この外交活動の主な目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 山口公立入試 類似）
1. 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため
 2. 隋に対して対等な立場での外交を求め、中国の進んだ律令制度をいち早く導入するため
 3. 邪馬台国の卑弥呼が魏から受けた称号と同様の権威を背景に、九州地方の豪族を支配するため
 4. 仏教の公伝をきっかけとして、大陸の進んだ建築技術や工芸品を組織的に輸入するため
- 問4 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群に含まれ、5世紀頃に築造された日本最大の前方後円墳として知られる、当時のヤマト政権の強大な勢力を象徴する古墳はどれか。（2020年 鳥取公立入試 類似）
1. 大仙古墳（伝仁徳天皇陵）
 2. 箸墓古墳
 3. 高松塚古墳
 4. 稲荷山古墳
- 問5 古代日本における漢字の伝来とその影響について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。大陸から移住してきた人々の活動や、宗教的な背景を踏まえて選びなさい。（2026年 神奈川公立入試 類似）
1. 渡来人が仏教の経典とともに漢字を伝え、日本人が公的な記録や情報の伝達を行う手段として定着した。
 2. 聖徳太子が大陸へ渡った際、現地で使われていた文字を日本独自の文字として持ち帰り、仏教の布教に利用した。
 3. 縄文時代の交易を通じて大陸の文字が広まり、その後、仏教を理解するための補助的な記号として漢字が発明された。
 4. 平安時代の貴族が、仏教の教えを分かりやすく書き換えるために、漢字をもとにして日本で初めて文字を作成した。
- 問6 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群には、5世紀頃に造られた日本最大の前方後円墳である大仙古墳が含まれている。このような巨大な古墳が築かれた時代の外交の特徴として、適切なものはどれか。（2020年 香川公立入試 類似）
1. 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。
 2. 中国の北朝へ使者を送り、仏教を公式に伝えるよう要請した。
 3. 唐へ遣唐使を派遣し、律令に基づく中央集権的な国家体制を導入した。
 4. 元（モンゴル）からの服属要求を拒否し、九州沿岸の防備を固めた。
- 問7 古墳時代、各地の有力者が巨大な墓を造りました。その中でも、上から見ると鍵穴のような独特の形（一方が四角形で、もう一方が円形）をした、日本独自の形式の古墳を何と呼びますか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 前方後円墳
 2. 円墳
 3. 方墳
 4. 装飾古墳
- 問8 3世紀ごろの中国大陆では、複数の勢力が対立して覇権を争っていました。この時期、日本の邪馬台国の女王である卑弥呼が使いを送り、「親魏倭王」の称号を授かったとされる国が含まれる時代の名称を選びなさい。（2016年 和歌山公立入試 類似）
1. 三国時代
 2. 戦国時代
 3. 五代十国時代
 4. 南北朝時代
- 問9 大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」に代表される、5世紀ごろに築かれた巨大な前方後円墳についての説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）
1. 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである
 2. 鎌倉幕府の将軍が自らの権威を示すために仏教の教えに基づいて建立したものである
 3. 律令国家の成立後に、地方を治めるために任命された国司の墓として造られたものである
 4. 北条氏が執権としての地位を確立するために、各地の武士に命じて造らせたものである
- 問10 5世紀頃、大和政権の王（倭の五王）が中国の南朝へ繰り返し使者を送った主な目的として、最も適切な説明はどれか。（2020年 香川公立入試 類似）
1. 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権を認めさせ、鉄資源の確保などの面で他国より優位に立つため。
 2. 中国の北朝から公式に仏教を取り入れることで、鎮護国家の思想に基づいた国づくりを行うため。
 3. 隋に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して中国の進んだ律令制度を学ぶため。
 4. 唐の勢力拡大に対抗するため、朝鮮半島の百濟や新羅と結んで軍事同盟を強化するため。
- 問11 日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2024年 滋賀公立入試 類似）
1. 高句麗・百濟・新羅
 2. 魏・呉・蜀
 3. 隋・唐・宋
 4. 渤海・高麗・新羅
- 問12 ヤマト王権の王たちが「倭の五王」として中国の南朝へ繰り返し使節を送り、当時の国際社会において自らの地位を誇示しようとした主な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 栃木公立入試 類似）
1. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため
 2. 最澄などの僧を派遣し、仏教を日本へ正式に導入するための許可を得るため
 3. 大陸から稲作の技術を導入し、国内の食料生産を安定させるための指導を仰ぐため
 4. 坂上田村麻呂を派遣して東北地方を制圧するために、強力な武器の支援を求めるため
- 問13 古墳時代中期（5世紀後半）におけるヤマト政権（大和政権）の勢力圏の広がりを説明する記述として、最も正しいものはどれですか。（2020年 和歌山公立入試 類似）
1. 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。
 2. 近畿地方を中心に巨大な前方後円墳が作られ始めたことから、この時期にはすでに東北地方まで完全に統一されていたと判断できる。
 3. 『魏志』倭人伝に記された女王の朝貢記録により、中国から認められた政権が全国の地方豪族を完全に服従させていたことがわかる。
 4. 仏教を政治に取り入れた聖徳太子が、全国に国分寺を建てることで、九州から関東までの地方組織を直接支配していたことがわかる。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 百舌鳥・古市古墳群が広がる、近畿地方（大阪府付近）	大仙陵古墳は、現在の大阪府堺市に位置しています。この地域には巨大な古墳が集中しており、2019年には「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されました。岩手県の平泉や、静岡県富士山、鹿児島県の屋久島もそれぞれ世界遺産に登録されていますが、古墳時代を象徴するこの巨大古墳は近畿地方に築かれました。
問2	答え 1 須恵器の製作技術や金属加工、漢字、仏教などの高度な文化・技術を伝えた。	渡来人は当時の日本にはなかった高度な技術を多数持っていました。硬くて灰色の土器である「須恵器」の製作、養蚕や機織り、金属の加工といった生産技術のほか、漢字や儒教、仏教などの文字や宗教も彼らを通じて伝えられました。これにより、日本の政治や生活様式は大きく変化しました。
問3	答え 1 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため	5世紀のヤマト王権にとって、武器や農具の材料となる鉄資源の確保は極めて重要でした。そのため、鉄の供給源である朝鮮半島南部での軍事的な影響力を強化することや、中国の皇帝から称号を授かることで、国内の有力な豪族たちに対して自らの王権の正当性を示すことが、この外交活動の大きな目的となっていました。
問4	答え 1 大仙古墳（伝仁徳天皇陵）	大阪府にある大仙古墳は、5世紀のヤマト政権の最盛期に築かれた日本最大の古墳です。これほど巨大な墳墓を築造できたことは、当時の政権が朝鮮半島から確保した鉄製工具を用い、大規模な土木作業を指揮できるほどの強大な権力を持っていたことを物語っています。
問5	答え 1 渡来人が仏教の経典とともに漢字を伝え、日本人が公的な記録や情報の伝達を行う手段として定着した。	朝鮮半島や中国大陸から移住した渡来人によって、漢字は仏教の経典とともに日本に伝えられました。当時、文字を持たなかった日本列島の人々は、これを受け入れることで歴史の記録や公的な文書の作成、そして宗教の理解を深めることが可能になり、日本の文明化に大きな影響を与えました。
問6	答え 1 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。	大仙古墳に代表される巨大な前方後円墳が造られた5世紀は、大和政権の王（倭王）が自らの権威を内外に示すために、中国の南朝へ朝貢した時期と重なります。この時期の外交は、朝鮮半島での軍事的な立場を強化し、鉄器の材料となる鉄資源の供給源を確保することが大きな目的の一つでした。
問7	答え 1 前方後円墳	3世紀後半から6世紀頃にかけて造られた、日本を代表する古墳の形式です。近畿地方で発生し、一方が方形（四角）、もう一方が円形を呈していることからその名がつけました。当時の首長の権力の大きさを示す象徴的な建造物です。
問8	答え 1 三国時代	3世紀の中国大陸では、魏、呉、蜀の三つの国が並び立ち、互いに勢力を争っていました。この時期を三国時代と呼び、日本の邪馬台国の女王・卑弥呼は、その中の一つである「魏」に使いを送り、金印や銅鏡を授かることで自らの権威を高めようとしていました。
問9	答え 1 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである	「百舌鳥・古市古墳群」に含まれる大山古墳（伝仁徳天皇陵）のような巨大な古墳の造営には、膨大な数の労働者と高度な土木技術、そしてそれらを統制する強力な組織力が必要でした。これは大和政権の最高権力者である「大王」が、広範囲にわたる豪族や民衆を支配下に置いていたことを証明する歴史的背景を持っています。
問10	答え 1 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権を認めさせ、鉄資源の確保などの面で他国より優位に立つため。	5世紀の大和政権は、国内での支配力を強めるとともに、大陸から伝来する鉄資源を安定して確保しようとしていました。そのために中国の南朝（宋など）へ朝貢を行い、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権や政治的な地位を正式に認めさせることで、周辺諸国に対して有利な立場を得ようとした背景があります。
問11	答え 1 高句麗・百済・新羅	朝鮮半島では、北部の高句麗、西部の百済、南東部の新羅の3校が対立し、抗争を繰り返していました。この情勢は当時の日本（倭）の外交や技術導入にも大きな影響を与え、日本は主に百済や加羅（加耶）の地域と結びついて行動していました。
問12	答え 1 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島の高句麗、百済、新羅などが勢力を争っていました。ヤマト王権は、中国の皇帝から「安東大將軍」といった軍事的な指揮権を含む称号を授かることで、朝鮮半島南部における自国の影響力を国際的に正当化しようとしていました。これは、当時の日本が朝鮮半島の鉄資源や先進技術を確保するために、外交的な優位性を必要としていたという背景に基づいています。
問13	答え 1 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。	ヤマト政権の支配範囲が拡大したことを示す考古学的な証拠は、文字が刻まれた金属器の出土です。埼玉県稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）と、熊本県江田船山古墳から出土した銀象嵌銘大刀（ぎんぞうがんめいたち）には、ともに「ワカタケル大王」という名が刻まれていました。これは、地方の有力者がヤマト政権の大王に仕えていたことを示しており、当時の政権の勢力が九州から関東まで及んでいた確かな根拠となります。

問1	5世紀後半のヤマト王権の勢力範囲を知る手がかりとして、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌の銘文を持つ鉄刀があります。この鉄刀に記されている、当時の王権の中心人物を指す名称として正しいものはどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）			
	1. ワカタケル大王	2. 志賀島の金印の主	3. 卑弥呼	4. 聖徳太子
問2	世界文化遺産にも登録されている、大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」について述べた文として、正しいものはどれか。（2020年 佐賀公立入試 類似）			
	1. 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。	2. すべて直径10メートル程度の小さな円墳のみで構成された、庶民のための墓地群である。	3. 仏教が伝来した後に、聖徳太子の命令によって各地の寺院の隣に作られたものである。	4. 東北地方から九州地方にかけての全国各地から、有力な豪族の遺骨を集めて埋葬した場所である。
問3	5世紀中頃に造られた日本最大の面積を誇る大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）の所在地について、日本列島を4つの地域に分けたとき、この古墳が位置する場所を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）			
	1. 中尊寺金色堂などの文化遺産がある、東北地方（岩手県付近）	2. 富士山が位置する、中部地方（静岡県付近）	3. 百舌鳥・古市古墳群が広がる、近畿地方（大阪府付近）	4. 屋久島などの自然遺産がある、九州地方南端（鹿児島県付近）
問4	古墳時代には、巨大な墳墓の周囲や頂上に、土で作られた焼き物が並べられました。これらには円筒形のもののほか、家、馬、あるいは武具を身につけた人物をかたどったものがありますが、これらを総称して何と呼びますか。（2015年 岡山公立入試 類似）			
	1. 埴輪	2. 土偶	3. 銅鐸	4. 勾玉
問5	中国の歴史書である『宋書』倭国伝には、5世紀に倭（日本）の王が南朝へ使いを送った「倭の五王」の記録があります。このうち、国内の稲荷山古墳（埼玉県）から出土した鉄剣の銘文に記された「ワカタケル大王」と同一人物であると考えられている王の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 愛媛公立入試 類似）			
	1. 倭王 讃	2. 倭王 珍	3. 倭王 済	4. 倭王 武
問6	5世紀、ヤマト王権の首長たちは「倭の五王」として中国の南朝へ使者を派遣し、朝貢を行いました。この外交活動の主な目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 山口公立入試 類似）			
	1. 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため	2. 隋に対して対等な立場での外交を求め、中国の進んだ律令制度をいち早く導入するため	3. 邪馬台国の卑弥呼が魏から受けた称号と同様の権威を背景に、九州地方の豪族を支配するため	4. 仏教の公伝をきっかけとして、大陸の進んだ建築技術や工芸品を組織的に輸入するため
問7	西ローマ帝国が滅亡した476年ごろから、遣隋使が派遣される607年ごろまでの期間における、日本列島と周辺地域の交流の様子を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2026年 高知公立入試 類似）			
	1. 朝鮮半島の戦乱を避けて移住してきた人々が、養蚕や機織り、文字などの技術を伝えた。	2. シルクロードを経由して西アジアの文化が直接日本の庶民の生活に浸透した。	3. 対馬などの沿岸部を拠点とする集団が、食料や人々を奪うために大陸沿岸を襲撃した。	4. 朝鮮半島の国家から將軍の代替わりごとに公式な使節団が派遣され、儒教の交流が行われた。
問8	大阪府の百舌鳥・古市古墳群に含まれる、三重の濠が巡らされた日本最大の前方後円墳の名称と、それが登録されているユネスコの区分の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 大仙古墳（世界文化遺産）	2. 大仙古墳（世界自然遺産）	3. 五色塚古墳（世界文化遺産）	4. 箸箸古墳（世界文化遺産）
問9	古墳時代、朝鮮半島から日本列島に移り住んだ人々によって、新たな土器の製作技術が伝えられました。専用の窯（かま）を用いて高温で焼成されることで、それまでの土器に比べて非常に硬く、色が灰色をしていることが特徴の土器を何と呼びますか。（2018年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 縄文土器	2. 弥生土器	3. 須恵器	4. 土師器
問10	埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、金象嵌（きんぞうがん）によってある人物の名前が刻まれていました。この鉄剣に記されていた大王の名として正しいものを選びなさい。（2024年 大阪公立入試 類似）			
	1. ワカタケル大王	2. 卑弥呼	3. 聖徳太子	4. 中大兄皇子
問11	5世紀、ヤマト王権の「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に繰り返し使者を送りました。中国側の歴史書『宋書』倭国伝に記されている、彼らが朝貢を通じて中国皇帝に認めてもらおうとした地位や権限とはどのようなものですか。（2025年 沖縄公立入試 類似）			
	1. 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権	2. 遣隋使の派遣を永続的に免除される特権	3. 明との間で勘合を用いた貿易を行うための独占的な権利	4. 鎖国体制を維持するために、他国との国交を断絶する公式な許可
問12	4世紀から7世紀頃、大陸から日本列島へ移住した人々が大和政権の成長や社会の発展に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 山形公立入試 類似）			
	1. 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。	2. 稲作の技術を初めて日本に伝え、狩猟や採集を中心とした社会から定住社会への転換を促した。	3. 遣隋使や遣唐使として大陸に派遣され、最新の政治制度を学んで帰国した後に律令国家の建設を主導した。	4. 九州沿岸の警備にあたる防人として任命され、大陸からの侵攻を防ぐ軍事的な役割を専門に担った。
問13	3世紀ごろの中国大陸では、複数の勢力が対立して覇権を争っていました。この時期、日本の邪馬台国の女王である卑弥呼が使いを送り、「親魏倭王」の称号を授かったとされる国が含まれる時代の名称を選びなさい。（2016年 和歌山公立入試 類似）			
	1. 三国時代	2. 戦国時代	3. 五代十国時代	4. 南北朝時代
問14	世界の歴史において、7世紀初頭にムハンマドがイスラム教を創始した時期、日本において行われていた政治体制や社会状況として正しいものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 北九州の「倭の奴国の王」が、後漢の皇帝から金印を授かっていた。	2. 平城京が建設され、律令に基づいた中央集権的な国家体制が整備されていた。	3. 大王を中心として近畿地方の豪族で構成された大和政権による統治が行われていた。	4. 卑弥呼が「親魏倭王」の称号を授かり、邪馬台国が30余りの国を従えていた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ワカタケル大王	江田船山古墳から出土した鉄刀に刻まれた「ワカタケル大王」は、中国の歴史書に記された「倭王武」や、日本の『記紀』に登場する雄略天皇にあたると考えられています。この名称が刻まれた遺物が、九州（江田船山古墳）と関東（稲荷山古墳）の両方から発見されたことは、広域な支配体制の確立を裏付ける歴史的な発見となりました。
問2	答え 1 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。	百舌鳥・古市古墳群は、現在の大阪府堺市、羽曳野市、藤井寺市に広がる古墳群です。4世紀後半から5世紀後半にかけて、当時の王権（ヤマト政権）の王たちの墓として築かれました。
問3	答え 3 百舌鳥・古市古墳群が広がる、近畿地方（大阪府付近）	大仙陵古墳は、現在の大阪府堺市に位置しています。この地域には巨大な古墳が集中しており、2019年には「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されました。岩手県の平泉や、静岡県富士山、鹿児島県の屋久島もそれぞれ世界遺産に登録されていますが、古墳時代を象徴するこの巨大古墳は近畿地方に築かれました。
問4	答え 1 埴輪	古墳の周囲や墳丘の上に並べられた土製品を埴輪（はにわ）と呼びます。埴輪には、王の権威を示す役割や、葬儀の儀式の様子を再現する役割があったと考えられています。縄文時代に魔除けや安産を祈願して作られた「土偶」とは、作られた時代や目的が異なるため、混同しないよう注意が必要です。
問5	答え 4 倭王 武	中国の南朝に朝貢した「倭の五王」のうち、最後に登場する「武」は、稲荷山古墳の鉄剣銘文にある「ワカタケル（獲加多支鹵）大王」と同一人物であるとする説が有力です。当時の倭の王は、朝鮮半島での軍事的な指揮権などを認めてもらうため、中国の皇帝から称号を得ようと外交交渉を行っていました。
問6	答え 1 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため	5世紀のヤマト王権にとって、武器や農具の材料となる鉄資源の確保は極めて重要でした。そのため、鉄の供給源である朝鮮半島南部での軍事的な影響力を強化することや、中国の皇帝から称号を授かることで、国内の有力な豪族たちに対して自らの王権の正当性を示すことが、この外交活動の大きな目的となっていました。
問7	答え 1 朝鮮半島の戦乱を避けて移住してきた人々が、養蚕や機織り、文字などの技術を伝えた。	この時期、朝鮮半島での戦乱を背景に多くの人々が日本列島へ渡り、大和政権の国づくりに協力しました。彼らが伝えた技術は、灌漑施設などの大規模な土木工事や鉄器の製作、機織りなど多岐にわたり、古代日本の社会構造を大きく変える要因となりました。選択肢にある倭寇（海賊行為）は中世以降、朝鮮通信使（公式使節）は江戸時代の出来事であり、時代背景が異なります。
問8	答え 1 大仙古墳（世界文化遺産）	5世紀の古墳時代中期に築造された大仙古墳は、全長約486メートルを誇る日本最大の古墳です。その圧倒的な規模と独特な形状は、当時のヤマト政権の強力な支配力を示すものと考えられています。2019年には、周辺の古墳とともに「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問9	答え 3 須恵器	古墳時代、朝鮮半島から移住した渡来人によって、穴窯（あながま）を用いた最新の作陶技術がもたらされました。従来の土師器（はじき）が野焼きで焼かれる赤褐色の土器であったのに対し、須恵器は1000度以上の高温で焼成されるため、実用性が高い硬質な土器として普及しました。
問10	答え 1 ワカタケル大王	埼玉県行田市の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、115文字の漢字が刻まれており、その中に「獲加多支鹵（ワカタケル）大王」という名が見られます。この大王は、中国の歴史書に記された「倭王武」や、『日本書紀』に登場する雄略天皇にあたると考えられています。
問11	答え 1 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権	5世紀になると、ヤマト王権の王たちは「倭の五王（讃・珍・済・興・武）」として中国の南朝に朝貢しました。彼らの主な目的は、日本国内の統一的な支配権を国際的に認めさせることでなく、当時進出を図っていた朝鮮半島南部における外交・軍事的な優位性を確保し、その立場を中国皇帝に正当化してもらうことにありました。
問12	答え 1 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。	移住した人々は、須恵器の製作、金属器の加工、養蚕、織物といった実用的な技術だけでなく、漢字や仏教、儒教といった学問や宗教も伝えました。これらの知識や技術は、大和政権が国内を統治するための公文書作成や、国家としての権威を高めるための寺院建築などに活用され、古代日本の国家形成において不可欠な役割を果たしました。なお、稲作の伝来は弥生時代、防人の制度は7世紀後半の白村江の戦い以降に本格化したものです。
問13	答え 1 三国時代	3世紀の中国大陸では、魏、呉、蜀の三つの国が並び立ち、互いに勢力を争っていました。この時期を三国時代と呼び、日本の邪馬台国の女王・卑弥呼は、その中の一つである「魏」に使いを送り、金印や銅鏡を授かることで自らの権威を高めました。
問14	答え 3 大王を中心として近畿地方の豪族で構成された大和政権による統治が行われていた。	7世紀初頭の日本は、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇を助けて政治を行っていた時期にあたり、政治組織としては大和政権の段階にあります。同時期の世界では中東でイスラム教が誕生しています。他の選択肢について、金印の授与は1世紀、邪馬台国の女王である卑弥呼の活躍は3世紀、平城京への遷都は8世紀（710年）であり、それぞれの時期が異なります。

- 問1 「大陸の王朝の力を利用して国づくりをはじめた」とされる5世紀の倭の王について、当時の国際情勢と外交方針を述べた文として正しいものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)

1. 倭の王は南朝へ朝貢し、朝鮮半島南部における立場を有利にするための承認を求めた

2. 聖徳太子が遣隋使を派遣し、中国の皇帝と対等な外交関係を築くことを目指した

3. 元（モンゴル帝国）の侵攻に備えるため、高麗と協力して大陸の情報を収集した

4. 足利義満が明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、勘合貿易を開始した
- 問2 熊本県に位置する前方後円墳である江田船山古墳からは、金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれた鉄刀が出土しています。この鉄刀に「ワカタケル大王」の名が刻まれていたことは、当時の日本におけるどのような政治的状況を証明するものとして重要視されていますか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

1. ヤマト王権の勢力が、九州地方にまで及んでいたこと

2. 九州地方に、近畿地方とは異なる独立した強力な国家が存在したこと

3. 大陸から伝わった仏教が、九州地方で最初期に受容されたこと

4. 縄文時代の交易ルートが、九州から関東までつながっていたこと
- 問3 3世紀ごろの中国大陸の情勢と、当時の日本との関わりについて述べた文として、内容が正しいものを一つ選びなさい。 (2016年 和歌山公立入試 類似)

1. 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。

2. 秦の王が初めて中国を統一して始皇帝と名乗り、日本を含む周辺地域に大規模な軍隊を派遣した。

3. 隋が南北に分裂していた中国を統一した時期であり、聖徳太子が小野妹子を派遣して交流を深めた。

4. 唐が周辺諸国に従える強大な帝国を築いており、日本からは律令制度を学ぶために遣唐使が送られた。
- 問4 巨大な前方後円墳が各地で盛んに造られていた古墳時代の5世紀ごろ、ヤマト王権の王たちは、自らの地位を国際的に認めさせるために中国の王朝へ使節を送りました。このとき、倭の五王が朝鮮半島での軍事的な指揮権などを認めてもらうために交渉を行った相手は、当時の中国のどの勢力ですか。 (2024年 栃木公立入試 類似)

1. 中国の南朝

2. 唐

3. 隋

4. 漢
- 問5 埼玉県の稲荷山古墳から出土した、表面に「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」という文字が金色の象嵌で刻まれた遺物について、その名称として正しいものを選んでください。 (2021年 大阪公立入試 類似)

1. 鉄剣

2. 銅鏡

3. 埴輪

4. 金印
- 問6 4世紀から5世紀にかけて、朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、さらには須恵器の製作技術や鉄器の製造といった高度な文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)

1. 渡来人

2. 防人

3. 遣唐使

4. 部民
- 問7 4世紀から7世紀頃、大陸から日本列島へ移住した人々が大和政権の成長や社会の発展に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山形公立入試 類似)

1. 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。

2. 稲作の技術を初めて日本に伝え、狩猟や採集を中心とした社会から定住社会への転換を促した。

3. 遣隋使や遣唐使として大陸に派遣され、最新の政治制度を学んで帰国した後、律令国家の建設を主導した。

4. 九州沿岸の警備にあたる防人として任命され、大陸からの侵攻を防ぐ軍事的な役割を専門に担った。
- 問8 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。 (2024年 三重公立入試 類似)

1. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。

2. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。

3. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。

4. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。
- 問9 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。 (2021年 島根公立入試 類似)

1. 縄文土器

2. 弥生土器

3. 須恵器

4. 土師器
- 問10 3世紀後半から4世紀にかけての日本列島の歴史において、大規模な古墳の築造が始まった時期の政治状況を説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2025年 秋田公立入試 類似)

1. 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。

2. 朝鮮半島から移住した渡来人が、最新の鉄器技術を背景に単独の王朝を打ち立てた。

3. 各地の小国が対等な立場で同盟を結び、銅鐸を共有する祭祀によって平和を保った。

4. 『魏志』倭人伝に記されているように、九州地方を中心とした女王による統治が続いた。
- 問11 埼玉県にある稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた金錯銘鉄剣が出土した一方で、熊本県にある江田船山古墳からも同様に大王の名が記された鉄刀が見つかっています。これらの発見から推測される、5世紀後半における大和政権の状況として最も適切なものはどれですか。 (2017年 大阪公立入試 類似)

1. 大和政権の支配力が、九州から関東までの広い範囲に及んでいた。

2. 大和政権の本拠地が、近畿地方から関東地方へ移転した。

3. 九州地方と関東地方の豪族が連合して、大和政権に対抗していた。

4. 朝鮮半島から伝わった鉄器の製造技術が、関東地方でのみ独占されていた。
- 問12 古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治的状況を物語っていますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)

1. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況

2. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況

3. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザインの鏡を輸入した状況

4. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況

答え合わせ・解説

問1	答え 1 倭の王は南朝へ朝貢し、朝鮮半島南部における立場を有利にするための承認を求めた	5世紀の倭の王たちは、中国の南朝に使いを送り、皇帝から「安東大將軍」などの称号を授かりました。これは中国の国際秩序の中に組み込まれることで、朝鮮半島南部での自国の影響力を正当化し、他の諸国との交渉を有利に進める狙いがありました。他の選択肢は、飛鳥時代、鎌倉時代、室町時代の出来事です。
問2	答え 1 ヤマト王権の勢力が、九州地方にまで及んでいたこと	5世紀後半のものとされる江田船山古墳の鉄刀には「ワカタケル大王（雄略天皇）」の名が刻まれており、これはヤマト王権（大和政権）の支配力が九州地方にまで浸透していたことを示す決定的な証拠となっています。同様の銘文を持つ鉄剣が埼玉県の稲荷山古墳からも出土しているため、当時の王権が関東から九州までの広範囲を統治下に置いていたことがわかります。
問3	答え 1 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。	中国の歴史書『魏志』倭人伝には、3世紀の中国が魏・呉・蜀の三国に分かれて争っていたこと、そして日本の卑弥呼が魏の皇帝から称号を授かったことが記されています。他の選択肢にある秦による統一は紀元前3世紀、隋による統一は6世紀末、唐との交流は7世紀以降の出来事であり、時期が異なります。
問4	答え 1 中国の南朝	古墳時代の5世紀、ヤマト王権（倭国）の「讃・珍・済・興・武」という5人の王（倭の五王）は、当時の中国で南側に成立していた「南朝」の諸王朝（宋など）へ使節を送りました。これは、中国の皇帝から称号を得ることで、国内での支配権を固めるとともに、朝鮮半島における政治的・軍事的な立場を他国に対して有利に進める狙いがありました。
問5	答え 1 鉄剣	稲荷山古墳から出土したこの鉄剣には、115文字に及ぶ漢字が刻まれており、当時の政治状況や文字の使用状況を知る一級の史料となっています。刻まれた「獲加多支鹵大王」は、日本書紀や古事記に登場する雄略天皇を指すと考えられています。
問6	答え 1 渡来人	朝鮮半島における戦乱や政治的変動を背景に、日本列島へ移り住んだ人々を指します。彼らがもたらした漢字は記録手段として、儒教は政治理念として、また須恵器や鉄器の製作技術は人々の生活や軍勢力を向上させる大きな力となりました。ヤマト王権はこれらの人々を組織に組み込むことで、国家の基盤を固めていきました。
問7	答え 1 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。	移住した人々は、須恵器の製作、金属器の加工、養蚕、織物といった実用的な技術だけでなく、漢字や仏教、儒教といった学問や宗教も伝えました。これらの知識や技術は、大和政権が国内を統治するための公文書作成や、国家としての権威を高めるための寺院建築などに活用され、古代日本の国家形成において不可欠な役割を果たしました。なお、稲作の伝来は弥生時代、防人の制度は7世紀後半の白村江の戦い以降に本格化したものです。
問8	答え 1 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。	ヤマト王権の王たちは、中国の皇帝から「安東大將軍」などの高い称号を得ることで、日本国内における絶対的な権威を確立しようとしていました。また、当時の朝鮮半島では高句麗や新羅、百済が対立しており、その中での軍事的な優位性を国際的に承認させる狙いもありました。
問9	答え 3 須恵器	渡来人は日常生活に密着した技術も多く伝播させました。それまで日本で作られていた土器よりも高い温度で焼成する技術や、ろくろを使用する技法が伝わったことで、より実用的で耐久性の高い器が生産されるようになりました。
問10	答え 1 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。	3世紀後半から4世紀ごろになると、近畿地方の有力な豪族たちが中心となり、各地の勢力を結びつけた政治的な連合体が成立しました。これが大和政権（ヤマト王権）であり、その成立と発展は、各地に共通の形式を持つ巨大な古墳が築かれるようになったことから裏付けられます。弥生時代の小国が乱立し、争いを繰り返していた段階から、より広範な地域を統括する仕組みへと移行した重要な時期といえます。
問11	答え 1 大和政権の支配力が、九州から関東までの広い範囲に及んでいた。	関東（埼玉県・稲荷山古墳）と九州（熊本県・江田船山古墳）という遠く離れた地域の双方から、大和政権の王であるワカタケル大王の名を記した遺物が見つかったことは、当時の政権の政治的影響力が日本列島の広範な地域に及んでいたことを証明する重要な歴史的事実です。
問12	答え 1 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況	同じ型から作られた鏡が広範囲で見つかることは、中央の大和政権が中国から入手、あるいは国内で製造した鏡を、自らの権威を認めた地方の有力者に分け与えたことを示唆しています。これにより、大和政権を中心とした政治的な連合や支配体制が、近畿地方から遠隔地へと広がっていった背景を読み取ることができます。

- 問1 古墳時代、朝鮮半島や中国から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられたもので、日本における記録や公文書作成の基礎となった文字を次のの中から選びなさい。 (2019年 岡山公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 漢字 | 2. ひらがな | 3. カタカナ | 4. ローマ字 |
|-------|---------|---------|---------|
- 問2 ヤマト王権が巨大な前方後円墳を築き、その周囲に武装した人物の像などの埴輪を並べたり、鉄剣に首長の称号を刻んだりした歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 岡山公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 各地の豪族に対して、王権の強大な軍事力や政治的な支配力を示すため | 2. 仏教を全国に広めるために、寺院の代わりとして巨大な墓を建立したため | 3. 大陸から伝わった稲作の技術を記念し、収穫を祝う祭祀の場とするため | 4. 貴族による摂政・関白の政治を安定させるための儀式として行ったため |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問3 5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 山口公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている | 2. 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている | 3. 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した | 4. 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った |
|--|---|---|--|
- 問4 日本最大級の規模を誇る前方後円墳である大仙古墳（大山古墳）が位置する場所として正しいものはどれですか。日本全国をいくつかの地域に分けた際、現在の大阪府堺市が含まれる地方の名称を選択しなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 東北地方 | 2. 関東地方 | 3. 近畿地方 | 4. 九州地方 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 5世紀頃に現在の大阪府堺市などに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、当時の社会背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 1. 渡来人がもたらした仏教の教えを広めるための寺院として機能していた。 | 2. 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。 | 3. 東北地方から九州地方まで、各地域の有力な豪族が中央政権から完全に独立して統治していた。 | 4. 稲作の豊作を祈るために、特定の支配者を持たない集落の人々が共同で管理する祭祀場であった。 |
|--------------------------------------|---|--|---|
- 問6 ヤマト王権の王たちが「倭の五王」として中国の南朝へ繰り返し使節を送り、当時の国際社会において自らの地位を誇示しようとした主な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 栃木公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|---|
| 1. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため | 2. 最澄などの僧を派遣し、仏教を日本へ正式に導入するための許可を得るため | 3. 大陸から稲作の技術を導入し、国内の食料生産を安定させるための指導を仰ぐため | 4. 坂上田村麻呂を派遣して東北地方を制圧するために、強力な武器の支援を求めるため |
|---|---------------------------------------|--|---|
- 問7 古墳時代中期（5世紀後半）におけるヤマト政権（大和政権）の勢力圏の広がりの説明する記述として、最も正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。 | 2. 近畿地方を中心に巨大な前方後円墳が作られ始めたことから、この時期にはすでに東北地方まで完全に統一されていたと判断できる。 | 3. 『魏志』倭人伝に記された女王の朝貢記録により、中国から認められた政権が全国の地方豪族を完全に服従させていたことがわかる。 | 4. 仏教を政治に取り入れた聖徳太子が、全国に国分寺を建てること、九州から関東までの地方組織を直接支配していたことがわかる。 |
|--|---|---|--|
- 問8 5世紀の朝鮮半島にある伽耶（加羅）地域から大和政権が得ていた資源で、武人の埴輪に見られるような鎧や武器の材料となり、政権の武力強化に大きく貢献した金属は何ですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|-------|------|
| 1. 鉄 | 2. 銅 | 3. 青銅 | 4. 金 |
|------|------|-------|------|
- 問9 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、漢字や儒教、仏教などの大陸文化や、優れた製作技術を伝えた人々を何と呼びますか。 (2021年 島根公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 遣隋使 | 2. 防人 | 3. 渡来人 | 4. 御家人 |
|--------|-------|--------|--------|
- 問10 仏教が伝来し寺院が建立されるようになる以前の時代、各地の有力者が自らの権威を示すために築いた、土を高く盛り上げた巨大な墓を何といいますか。 (2022年 岡山公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|------|
| 1. 古墳 | 2. 貝塚 | 3. 環濠集落 | 4. 都 |
|-------|-------|---------|------|
- 問11 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、鉄器の製作、須恵器の生産、さらには漢字や仏教などの高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 徳島公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 渡来人 | 2. 弥生人 | 3. 防人 | 4. 遣唐使 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問12 「大陸の王朝の力を利用して国づくりをはじめた」とされる5世紀の倭の王について、当時の国際情勢と外交方針を述べた文として正しいものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--------------------------------------|
| 1. 倭の王は南朝へ朝貢し、朝鮮半島南部における立場を有利にするための承認を求めた | 2. 聖徳太子が遣隋使を派遣し、中国の皇帝と対等な外交関係を築くことを目指した | 3. 元（モンゴル帝国）の侵攻に備えるため、高麗と協力して大陸の情報を収集した | 4. 足利義満が明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、勘合貿易を開始した |
|---|---|---|--------------------------------------|
- 問13 埼玉県の稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた鉄剣が出土し、また熊本県の江田船山古墳からも同じ大王の名が刻まれた大刀が出土しました。これらの史料から推測できる、5世紀後半の日本列島の状況として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大阪公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。 | 2. 仏教の教えが全国に広まり、各地の豪族が鉄剣を寺院に奉納していた。 | 3. 各地域の豪族が独自に強力な軍隊を持ち、ヤマト政権と激しく対立していた。 | 4. 稲作の技術が伝わったことで、日本列島各地で小国家の統一が始まった。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|--------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 漢字	古墳時代に大陸の進んだ技術や文化を持った人々（渡来人）が日本列島へ移住した際、儒教や仏教とともに伝えられたのが漢字です。これにより、それまで文字を持たなかった日本において、出来事の記録や政治的な文書の作成が可能となりました。ひらがなやカタカナは、後にこの漢字を崩したり、一部を取ったりすることで日本独自の文字として発展したものです。
問2	答え 1 各地の豪族に対して、王権の強大な軍事力や政治的な支配力を示すため	古墳の巨大化や、武人などをかたどった埴輪の設置、そして「大王」という称号を刻んだ鉄剣を配ることは、ヤマト王権の優れた技術力や軍事的な権威を内外に示す目的がありました。これにより、各地の有力な豪族を自らの支配下に組み込み、連合政権としての基盤を固めていきました。
問3	答え 1 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている	5世紀、ヤマト王権は当時の中国の南朝（宋など）へ朝貢を行っていました。中国の歴史書には、讃・珍・済・興・武という5人の王が記録されており、彼らが軍事的な称号や政治的地位を求めていることが記されています。他の選択肢は、3世紀の邪馬台国、7世紀の遣隋使、あるいは7世紀以降の遣唐使に関する内容であり、時代背景が異なります。
問4	答え 3 近畿地方	5世紀頃、現在の大阪府や奈良県などを含む近畿地方を中心に、巨大な前方後円墳が数多く造られました。大仙古墳は、当時の大和政権（ヤマト王権）の首長である大王の権力を象徴するものであり、現在の大阪府堺市に位置しています。
問5	答え 2 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。	近畿地方にある大仙古墳のような巨大な墳墓の築造には、極めて多くの人手と長い年月が必要でした。このような大規模な土木工事が可能であったことは、当時の大王が広い範囲にわたって人々を支配し、動員できるほど強力な権力を持っていたことを示しています。
問6	答え 1 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島の高句麗、百濟、新羅などが勢力を争っていました。ヤマト王権は、中国の皇帝から「安東大將軍」といった軍事的な指揮権を含む称号を授かることで、朝鮮半島南部における自国の影響力を国際的に正当化しようとした。これは、当時の日本が朝鮮半島の鉄資源や先進技術を確保するために、外交的な優位性を必要としていたという背景に基づいています。
問7	答え 1 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。	ヤマト政権の支配範囲が拡大したことを示す考古学的な証拠は、文字が刻まれた金属器の出土です。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣（きんさくめいてつけん）と、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌銘大刀（ぎんぞうがんめいたち）には、ともに「ワカタケル大王」という名が刻まれていました。これは、地方の有力者がヤマト政権の大王に仕えていたことを示しており、当時の政権の勢力が九州から関東まで及んでいた確かな根拠となります。
問8	答え 1 鉄	大和政権は、朝鮮半島の南部に位置する伽耶（加羅）地域から鉄資源を安定的に確保し、それを用いて高度な武器や鎧を製造しました。当時の古墳から出土する武人の埴輪が鎧をまとっていることから、この金属が軍事力の象徴であったことがわかります。これにより、政権は軍事的な優位を築きました。
問9	答え 3 渡来人	朝鮮半島での動乱などを背景に、優れた技術や知識を持つ人々が日本列島へ渡ってきました。彼らは大和政権に仕え、文字（漢字）の記録や外交、土木技術、金属工芸などの分野で重要な役割を果たし、日本の古代国家形成に大きな影響を与えました。
問10	答え 1 古墳	古墳時代、各地の有力者（豪族）は土を高く盛り上げた巨大な「古墳」を築くことで、その勢力を誇示しました。しかし、飛鳥時代に仏教が伝来して寺院が建立されるようになると、有力者の権威を象徴する対象は古墳から寺院へと変化し、巨大な古墳は次第に造られなくなっていました。
問11	答え 1 渡来人	4世紀以降、大陸での戦乱などを背景に、朝鮮半島や中国大陸から優れた技術や知識を持つ人々が日本列島へ移り住みました。彼らは金属加工や土木技術、機織りなどの実用的な技術だけでなく、漢字や儒教、仏教といった学問・宗教も伝え、古代日本の文化や政治の発展に大きな役割を果たしました。
問12	答え 1 倭の王は南朝へ朝貢し、朝鮮半島南部における立場を有利にするための承認を求めた	5世紀の倭の王たちは、中国の南朝に使いを送り、皇帝から「安東大將軍」などの称号を授かりました。これは中国の国際秩序の中に組み込まれることで、朝鮮半島南部での自国の影響力を正当化し、他の諸国との交渉を有利に進める狙いがありました。他の選択肢は、飛鳥時代、鎌倉時代、室町時代の出来事です。
問13	答え 1 ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。	遠く離れた関東（埼玉県）と九州（熊本県）の両地域から、同一の大王の名を刻んだ刀剣が見つかったことは、当時のヤマト政権が広範囲の豪族を服属させ、統治下に置いていたことを示す重要な歴史的証拠となっています。単なる交易の証拠ではなく、地方の豪族が大王に仕えていたという政治的な背景を裏付けています。

- 問1 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。 (2021年 島根公立入試 類似)
1. 縄文土器 2. 弥生土器 3. 須恵器 4. 土師器
- 問2 古墳時代、朝鮮半島から伝えられた技術を用いて作られた土器があります。斜面を利用した穴窯（あながま）の中で、1000度以上の高温で焼き締められた、灰色で硬質な特徴を持つ土器の名称を答えなさい。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 須恵器 2. 土師器 3. 弥生土器 4. 縄文土器
- 問3 古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治状況を物語っていますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況 2. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況 3. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザイン鏡を輸入した状況 4. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況
- 問4 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、鉄器の製作、須恵器の生産、さらには漢字や仏教などの高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 徳島公立入試 類似)
1. 渡来人 2. 弥生人 3. 防人 4. 遣唐使
- 問5 5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 山口公立入試 類似)
1. 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている 2. 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている 3. 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した 4. 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った
- 問6 埼玉県の稲荷山古墳から出土した、表面に「獲加多支婁大王（ワカタケル大王）」という文字が金色の象嵌で刻まれた遺物について、その名称として正しいものを選んでください。 (2021年 大阪公立入試 類似)
1. 鉄剣 2. 銅鏡 3. 埴輪 4. 金印
- 問7 大和政権が朝鮮半島や中国大陸から移り住んだ人々を厚遇し、積極的に組織へ組み込んだ理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 大陸の優れた土木技術、金属加工、文字の知識などを取り入れ、政権の支配力を強めるため 2. 狩猟採集中心の生活から、初めて稲作を中心とする社会へと移行させる必要があったため 3. 地方の豪族が持っていた鉄器の製造技術を独占し、天皇の権威を否定させるため 4. 遣唐使を派遣する代わりに、大陸の役人を招いて日本の政治制度をすべて中国風に改めるため
- 問8 古代の日本と朝鮮半島の国々との関係について、百濟が大和政権に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった 2. 唐と結んで、朝鮮半島を初めて統一するための軍事的な支援を日本に求めた 3. 大和政権に対して、魏志倭人伝に記されたような金印を授与して冊封関係を結んだ 4. 日本に鉄資源を供給することを主な目的として、九州北部に軍事拠点を置いた
- 問9 4世紀から6世紀にかけて朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、仏教のほか、機織り、土木、金属加工といった大陸の進んだ技術を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 渡来人 2. 防人 3. 御家人 4. 遣隋使
- 問10 5世紀頃に現在の大阪府堺市などに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、当時の社会背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 渡来人がもたらした仏教の教えを広めるための寺院として機能していた。 2. 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。 3. 東北地方から九州地方まで、各地の有力な豪族が中央政権から完全に独立して統治していた。 4. 稲作の豊作を祈るために、特定の支配者を持たない集落の人々が共同で管理する祭祀場であった。
- 問11 5世紀のヤマト王権の有力者たちは、当時の中国において、政治的な正当性や朝鮮半島での軍事的な立場を認めてもらうために使者を派遣しました。このとき、ヤマト王権が朝貢を行った中国の王朝の総称として正しいものを選択してください。 (2024年 三重公立入試 類似)
1. 南朝 2. 北朝 3. 隋 4. 唐
- 問12 5世紀、ヤマト政権の王たちは「倭の五王」として中国の南朝に相次いで使者を送りました。当時の王たちが、朝鮮半島での軍事的な立場を有利にしたり、国内の支配体制を安定させたりするために、中国の皇帝から得ようとしたものは何ですか。 (2024年 大阪公立入試 類似)
1. 自らの地位や権威を証明する称号 2. 仏教を正式な国教とするための許可 3. 律令制度を導入するための法典や教本 4. 遣隋使や遣唐使を派遣するための正式な国交
- 問13 5世紀の日本において、大和政権が広範囲を支配していたことを示す証拠として、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣があります。この鉄剣には表面に金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれており、そこに見られる、当時の大和政権の王を指す名称として正しいものを選びなさい。 (2014年 和歌山公立入試 類似)
1. 聖徳太子 2. ワカタケル大王 3. 卑弥呼 4. 中大兄皇子
- 問14 熊本県に位置する前方後円墳である江田船山古墳からは、金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれた鉄刀が出土しています。この鉄刀に「ワカタケル大王」の名が刻まれていたことは、当時の日本におけるどのような政治状況を証明するものとして重要視されていますか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. ヤマト王権の勢力が、九州地方にまで及んでいたこと 2. 九州地方に、近畿地方とは異なる独立した強力な国家が存在したこと 3. 大陸から伝わった仏教が、九州地方で最初期に受容されたこと 4. 縄文時代の交易ルートが、九州から関東までつながっていたこと

答え合わせ・解説

問1	答え 3 須恵器	渡来人は日常生活に密着した技術も多く伝播させました。それまで日本で作られていた土器よりも高い温度で焼成する技術や、ろくろを使用する技法が伝わったことで、より実用的で耐久性の高い器が生産されるようになりました。
問2	答え 1 須恵器	古墳時代には朝鮮半島から渡来人によって新しい製作技術が伝えられました。それまでの日本列島で伝統的につくられてきた、野焼きで赤褐色の土師器に対し、須恵器は密閉された窯を用いて高温で焼成されるため、灰色で非常に硬い仕上がりになります。この技術革新により、より実用的で堅牢な容器の生産が可能になりました。
問3	答え 1 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況	同じ型から作られた鏡が広範囲で見つかることは、中央の大和政権が中国から入手、あるいは国内で製造した鏡を、自らの権威を認めた地方の有力者に分け与えたことを示唆しています。これにより、大和政権を中心とした政治的な連合や支配体制が、近畿地方から遠隔地へと広がっていった背景を読み取ることができます。
問4	答え 1 渡来人	4世紀以降、大陸での戦乱などを背景に、朝鮮半島や中国大陸から優れた技術や知識を持つ人々が日本列島へ移り住みました。彼らは金属加工や土木技術、機織りなどの実用的な技術だけでなく、漢字や儒教、仏教といった学問・宗教も伝え、古代日本の文化や政治の発展に大きな役割を果たしました。
問5	答え 1 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている	5世紀、ヤマト政権は当時の中国の南朝（宋など）へ朝貢を行っていました。中国の歴史書には、讃・珍・済・興・武という5人の王が記録されており、彼らが軍事的な称号や政治的地位を求めていたことが記されています。他の選択肢は、3世紀の邪馬台国、7世紀の遣隋使、あるいは7世紀以降の遣唐使に関する内容であり、時代背景が異なります。
問6	答え 1 鉄剣	稲荷山古墳から出土したこの鉄剣には、115文字に及び漢字が刻まれており、当時の政治状況や文字の使用状況を知る一級の史料となっています。刻まれた「獲加多支鹵大王」は、日本書紀や古事記に登場する雄略天皇を指すと考えられています。
問7	答え 1 大陸の優れた土木技術、金属加工、文字の知識などを取り入れ、政権の支配力を強めるため	大和政権は、渡来人が持つ先進的な技術（鉄器製作、灌漑などの土木、織物）や知識（漢字による記録、儒教、仏教）を独占・管理することで、他の有力豪族に対して優位に立とうとしました。これらの技術は、巨大古墳の造営や農地の拡大、組織的な統治に欠かせないものでした。
問8	答え 1 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった	百済は朝鮮半島における軍事的緊張の中で大和政権と結びつき、その見返りとして先進的な技術や文化を日本へ伝えました。特に6世紀の聖明王による仏教の伝来は、その後の飛鳥文化の発展につながる歴史的な転換点となりました。他の選択肢にある半島統一は新羅の役割であり、金印の授与は中国の王朝との関係です。
問9	答え 1 渡来人	4世紀から6世紀にかけて、朝鮮半島の戦乱などを背景に、多くの人々が日本列島へ移住しました。彼らは渡来人と呼ばれ、大陸の高度な技術や文化を日本へもたらしました。彼らが伝えた漢字は、後の公文書作成の基礎となり、仏教の伝来は日本の文化や政治のあり方に大きな影響を与えました。
問10	答え 2 大和政権（ヤマト政権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。	近畿地方にある大仙古墳のような巨大な墳墓の築造には、極めて多くの人手と長い年月が必要でした。このような大規模な土木工事が可能であったことは、当時の大王が広い範囲にわたって人々を支配し、動員できるほど強力な権力を持っていたことを示しています。
問11	答え 1 南朝	5世紀の中国は、華北を支配する北朝と、江南を支配する南朝に分かれて対立していました。地理的に南に位置する王朝と交流しやすかったヤマト政権は、南朝の諸王朝へ「倭の五王」と呼ばれる王たちが相次いで使者を送り、朝貢を行いました。
問12	答え 1 自らの地位や権威を証明する称号	5世紀の朝鮮半島では高句麗が南下政策をとっており、ヤマト政権は百済や加耶（加羅）との関係を維持するために、中国の皇帝から軍事指揮権を含む官号（称号）を得る必要がありました。中国という巨大な帝国の権威を借りることで、国際的な立場を強めると同時に、日本国内の豪族たちに対する支配の正当性を主張しようとしたのが主な目的です。
問13	答え 2 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、金象嵌によって「獲加多支鹵（ワカタケル）大王」の名が刻まれています。この王は『日本書紀』や『古事記』に登場する雄略天皇にあたると考えられており、5世紀ごろの大和政権の強力な支配力を示す重要な史料となっています。
問14	答え 1 ヤマト政権の勢力が、九州地方にまで及んでいたこと	5世紀後半のものとされる江田船山古墳の鉄刀には「ワカタケル大王（雄略天皇）」の名が刻まれており、これはヤマト政権（大和政権）の支配力が九州地方にまで浸透していたことを示す決定的な証拠となっています。同様の銘文を持つ鉄剣が埼玉県の稲荷山古墳からも出土しているため、当時の王権が関東から九州までの広範囲を統治下に置いていたことがわかります。

- 問1 渡来人が日本列島にもたらした技術や文化のうち、当時のヤマト政権（大和朝廷）が組織を運営し、他国との交渉を行う上で、特に記録や伝達の手段として不可欠となったものはどれか。（2017年 徳島公立入試 類似）
- 漢字
 - 仏教
 - 須恵器の製作技術
 - 機織りの技術
- 問2 大和政権の時代、大陸から移住してきた渡来人がもたらした技術や文化について述べたものとして、最も適切なものはどれか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）
- 金属を精錬する技術や、高温で焼いて作る硬い土器である須恵器の製作技術
 - 唐の法律にならって作られた大宝律令などの統治制度
 - 九州沿岸を守るために配置された防人による防衛の仕組み
 - 遣隋使によって直接もたらされた、隋の進んだ政治制度
- 問3 5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。（2024年 山口公立入試 類似）
- 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている
 - 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている
 - 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した
 - 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った
- 問4 4世紀から7世紀にかけて、近畿地方の有力な一族を中心として組織され、日本の大部分を統治した政治組織の仕組みについて述べたものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）
- 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。
 - 漢の皇帝から授けられた金印を持つ王が、中国の王朝に対して朝貢を行うことで統治した。
 - 貴族が摂政や関白の職を独占し、天皇に代わって政治の実権を握る体制がとられた。
 - 地方の武士が幕府を開き、土地の支配権を保証することで全国の武士を統制した。
- 問5 古墳時代に見られる、上から見ると鍵穴のような形（一方が四角く、一方が丸い）をした古墳の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
- 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である
 - 弥生時代に中国大陸から伝わった形式であり、主に北九州地方で多く見られる
 - 聖徳太子による冠位十二階の制定と同時に、身分を示す墓として推奨された
 - 鎌倉時代に幕府の許可を得た武士のみが、自分の領地に築くことができた
- 問6 4世紀末から5世紀の山口県の古墳から出土した銅鏡の記述など、瀬戸内海の航路の要所に位置する地域から王権に関連する品々が見つかることがあります。この事実から推測される、当時のヤマト王権の地方支配のあり方として正しいものはどれですか。（2024年 山口公立入試 類似）
- 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確保しようとした
 - 邪馬台国の女王卑弥呼が中国から受け取った鏡を、瀬戸内海の豪族に再分配した
 - 遣隋使を派遣するための寄港地を確保するため、山口県周辺を王権の直轄地とした
 - 大陸から伝来した青銅器の製造技術を、農業振興のために全国の農民へ普及させた
- 問7 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
- 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた
 - 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた
 - 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた
 - 中国大陸の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた
- 問8 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。（2021年 鳥根公立入試 類似）
- 縄文土器
 - 弥生土器
 - 須恵器
 - 土師器
- 問9 大和政権の性格について、それ以前の弥生時代の社会状況と比較した説明として、最もふさわしいものはどれか。（2025年 秋田公立入試 類似）
- 近畿地方の豪族が中心となり、各地の有力な勢力と連合することで広域的な政治支配をめざした。
 - 大陸からの渡来人によってもたらされた仏教と文字を政治の基盤として、中央集権的な国家を完成させた。
 - 特定の女王がまじないなどの呪術的な力を用いて、各地の小国を完全に服従させ、争いを根絶した。
 - 銅鐸を用いた共通の祭祀を通じて、各地の小国が独立性を保ったまま、利害関係のない経済圏を築いた。
- 問10 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）
- 渡来人
 - 遣隋使
 - 防人
 - 御家人
- 問11 埼玉県にある稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた金錯銘鉄剣が出土した一方で、熊本県にある江田船山古墳からも同様に大王の名が記された鉄刀が見つかっています。これらの発見から推測される、5世紀後半における大和政権の状況として最も適切なものはどれですか。（2017年 大阪公立入試 類似）
- 大和政権の支配力が、九州から関東までの広い範囲に及んでいた。
 - 大和政権の本拠地が、近畿地方から関東地方へ移転した。
 - 九州地方と関東地方の豪族が連合して、大和政権に対抗していた。
 - 朝鮮半島から伝わった鉄器の製造技術が、関東地方でのみ独占されていた。
- 問12 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。（2020年 三重公立入試 類似）
- 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。
 - ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。
 - 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。
 - 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。
- 問13 400年頃に倭王が中国へ使いを送っていた記録がある時代から、平城京へと遷都されるまでの期間にかけて、日本列島では大陸との交流が盛んに行われました。この時期の文化や技術の伝来について述べた文として、正しいものを選択してください。（2023年 愛媛公立入試 類似）
- 渡来人によって、須恵器の製作技術や、漢字・儒教・仏教などが日本へ伝えられた。
 - 大陸との交流を通じて、源氏物語や枕草子に代表される国風文化が開いた。
 - 大陸から最新の農業技術が伝わり、脱穀のための千歯扱きが全国に普及した。
 - 中国から大量の銅銭が流入したことで、須恵器に代わって貨幣経済が急速に発達した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 漢字	文字を持たなかった当時の日本において、渡来人がもたらした漢字は極めて重要な役割を担いました。ヤマト政権は、渡来人の子孫たちを「史（ふひと）」などの役職に就け、朝廷の記録作成や、中国・朝鮮半島の諸国との外交文書の作成に当たらせました。これにより、組織的な統治や国際的な交渉が可能になりました。
問2	答え 1 金属を精錬する技術や、高温で焼いて作る硬い土器である須恵器の製作技術	渡来人は専門的な技術を持った集団として、大和政権下で重用されました。彼らが伝えた須恵器は、それまでの弥生土器や古墳時代の土師器（はじき）とは異なり、穴窯を用いて1000度以上の高温で焼成された青灰色の硬い土器です。また、鉄製品の加工や農具の改善なども行われ、日本の農業や生活様式に劇的な変化を与えました。
問3	答え 1 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている	5世紀、ヤマト王権は当時の中国の南朝（宋など）へ朝貢を行っていました。中国の歴史書には、讃・珍・済・興・武という5人の王が記録されており、彼らが軍事的な称号や政治的地位を求めていることが記されています。他の選択肢は、3世紀の邪馬台国、7世紀の遣隋使、あるいは7世紀以降の遣唐使に関する内容であり、時代背景が異なります。
問4	答え 1 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。	4世紀頃に近畿地方を拠点として成立した大和政権は、豪族と呼ばれる有力な一族が連合して形成された組織です。その中心には「大王（おおきみ）」と呼ばれる世襲の王が君臨し、有力な豪族たちは職務を分担して政権を支えました。この体制は、後の律令国家へと発展していく基礎となりました。
問5	答え 1 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である	前方後円墳は3世紀後半から造られ始め、大和政権（ヤマト王権）の拡大とともに全国へ普及しました。大阪府にある大山古墳（伝・仁徳天皇陵）のように世界最大級の規模を持つものもあり、これは当時の王の権力の強大さを物語っています。
問6	答え 1 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確保しようとした	ヤマト王権が全国的な影響力を強めるためには、朝鮮半島や中国大陸との外交、あるいは国内の物資輸送に欠かせない海上交通路を掌握することが不可欠でした。山口県のように瀬戸内海沿岸の重要な地点を治める豪族に対し、権威の象徴である銅鏡を与えることで味方につけ、安定した航路の確保と地方への影響力行使を両立させていたと考えられます。なお、卑弥呼の時代は3世紀であり、この問題が扱う4～5世紀とは時代が異なります。
問7	答え 1 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた	群馬県の綿貫観音山古墳から出土したような灰色の硬質な土器は須恵器と呼ばれます。これは5世紀頃に朝鮮半島から伝来した技術で、斜面に作った穴窯を使用することで、野焼きでは不可能な1000度以上の高温状態を保って焼成されました。この製法によって粘土が焼き締まり、金属のような硬さを持つ土器が誕生しました。
問8	答え 3 須恵器	渡来人は日常生活に密着した技術も多く伝播させました。それまで日本で作られていた土器よりも高い温度で焼成する技術や、ろくろを使用する技法が伝わったことで、より実用的で耐久性の高い器が生産されるようになりました。
問9	答え 1 近畿地方の豪族が中心となり、各地の有力な勢力と連合することで広域的な政治支配をめざした。	大和政権は、近畿地方の有力豪族が連合して形成された政治組織です。これは、小国が独立して割拠していた弥生時代の状態や、単一の強力な王が全国を直接支配する形態とは異なります。複数の有力な勢力が「連合」という形で結びつくことで、大規模な土木作業が必要な古墳の築造や、対外的な交渉が可能になるほどの広域的な統治体制を整えていったことが大きな特徴です。選択肢にある銅鐸の祭祀や『魏志』倭人伝の記述は、大和政権が成立する以前の弥生時代の特色を指しています。
問10	答え 1 渡来人	大陸での争乱を避けるために日本に移り住んだ、あるいは大和政権に招かれた人々を指します。彼らは土木、養蚕、機織り、金属加工などの高度な技術のほか、漢字や仏教、儒教といった思想・文化をもたらし、日本が国家としての形を整える上で重要な役割を果たしました。
問11	答え 1 大和政権の支配力が、九州から関東までの広い範囲に及んでいた。	関東（埼玉県・稲荷山古墳）と九州（熊本県・江田船山古墳）という遠く離れた地域の双方から、大和政権の王であるワカタケル大王の名を記した遺物が見つかったことは、当時の政権の政治的影響力が日本列島の広範な地域に及んでいたことを証明する重要な歴史的事実です。
問12	答え 2 ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。	大仙古墳のような巨大な前方後円墳の建設には、延べ数百万人とも言われる膨大な労働力と長い年月が必要でした。これほど大規模な墓を築くことができた事実、被葬者である大王が近畿地方を中心として、広範囲にわたる民衆や地方の豪族を統制し、支配下に置いていたことを証明しています。
問13	答え 1 渡来人によって、須恵器の製作技術や、漢字・儒教・仏教などが日本へ伝えられた。	古墳時代の5世紀前後から、朝鮮半島や中国大陸から移り住んだ「渡来人」は、当時の日本に存在しなかった高度な技術や文化を伝えました。これには、須恵器の製作技術のほか、機織り、金属工芸、さらには漢字や儒教、そして後の飛鳥文化の基盤となる仏教などが含まれます。選択肢にある「国風文化」は平安時代中期、「千歯扱き」は江戸時代の特色であり、この時期の出来事とは一致しません。

- 問1 古墳時代に、前方後円墳という特定の形式が日本各地の有力者の墓として採用されたことは、当時の政治状況においてどのようなことを意味していますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと
 2. 各地の豪族が独自の宗教観に基づき、異なる形式の墓を競って造ったこと
 3. 大陸から伝来した仏教に基づき、全国一斉に寺院の建立が始まったこと
 4. 狩猟・採集中心の生活から、稲作を中心とする社会へ移行し始めたこと
- 問2 5世紀の日本において、大和政権が広範囲を支配していたことを示す証拠として、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣があります。この鉄剣には表面に金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれており、そこに見られる、当時の大和政権の王を指す名称として正しいものを選びなさい。 (2014年 和歌山公立入試 類似)
1. 聖徳太子
 2. ワカタケル大王
 3. 卑弥呼
 4. 中大兄皇子
- 問3 5世紀の日本において、倭の五王と呼ばれる王たちが中国の南朝へ繰り返し使節を送った目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため
 2. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に勝利するための軍事同盟を、中国の王朝と結ぶため
 3. 沿岸部で活動し周辺諸国を苦しめていた倭寇を取り締まるよう、中国から要請を受けたため
 4. 平城京を造営するためのモデルとして、中国の都の仕組みを詳しく調査するため
- 問4 徳島県と香川県を結ぶ道路の建設予定地周辺など、四国地方においても複数の「前方後円墳」を含む古墳群が確認されています。このように、近畿地方を拠点とする勢力が採用した墓の形式が全国各地へ広まった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。 (2023年 愛知公立入試 類似)
1. 近畿地方を拠点とする大和政権の政治的な影響力が、地方へと及んでいたこと
 2. 多賀城を中心とした東北地方の勢力が、全国を統一する力を持っていたこと
 3. 遣唐使によってもたらされた国風文化が、地方の豪族の間で流行していたこと
 4. 仏教の伝来により、古墳に代わって大規模な寺院が地方に建立され始めたこと
- 問5 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。 (2024年 三重公立入試 類似)
1. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。
 2. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。
 3. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。
 4. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。
- 問6 古墳時代には、巨大な墳墓の周囲や頂上に、土で作られた焼き物が並べられました。これらには円筒形のもののほか、家、馬、あるいは武具を身につけた人物をかたどったものがありますが、これらを総称して何と呼びますか。 (2015年 岡山公立入試 類似)
1. 埴輪
 2. 土偶
 3. 銅鐸
 4. 勾玉
- 問7 3世紀後半から6世紀にかけて、日本各地の有力な豪族の墓として築かれた古墳のうち、上空から見ると円形と方形（四角形）を組み合わせた鍵穴のような形をしている、日本独自の形式を何と呼びますか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 前方後円墳
 2. 円墳
 3. 方墳
 4. 装飾古墳
- 問8 世界文化遺産にも登録されている、大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」について述べた文として、正しいものはどれか。 (2020年 佐賀公立入試 類似)
1. 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。
 2. すべて直径10メートル程度の小さな円墳のみで構成された、庶民のための墓地群である。
 3. 仏教が伝来した後に、聖徳太子の命令によって各地の寺院の隣に作られたものである。
 4. 東北地方から九州地方にかけての全国各地から、有力な豪族の遺骨を集めて埋葬した場所である。
- 問9 大阪府堺市に位置する、全長約486mにおよぶ日本最大の前方後円墳の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 大仙古墳
 2. 吉野ヶ里遺跡
 3. 三内丸山遺跡
 4. 登呂遺跡
- 問10 400年頃に倭王が中国へ使いを送っていた記録がある時代から、平城京へと遷都されるまでの期間にかけて、日本列島では大陸との交流が盛んに行われました。この時期の文化や技術の伝来について述べた文として、正しいものを選択してください。 (2023年 愛媛公立入試 類似)
1. 渡来人によって、須恵器の製作技術や、漢字・儒教・仏教などが日本へ伝えられた。
 2. 大陸との交流を通じて、源氏物語や枕草子に代表される国風文化が開いた。
 3. 大陸から最新の農業技術が伝わり、脱穀のための千歯扱きが全国に普及した。
 4. 中国から大量の銅銭が流入したことで、須恵器に代わって貨幣経済が急速に発達した。
- 問11 5世紀後半の大和政権において、最高権力者が名乗った称号は何ですか。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣に、「獲加多支鹵」という人名に続けて刻まれている名称を答えなさい。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
1. 大王
 2. 天皇
 3. 将軍
 4. 執権
- 問12 大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」に代表される、5世紀ごろに築かれた巨大な前方後円墳についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである
 2. 鎌倉幕府の将軍が自らの権威を示すために仏教の教えに基づいて建立したものである
 3. 律令国家の成立後に、地方を治めるために任命された国司の墓として造られたものである
 4. 北条氏が執権としての地位を確立するために、各地の武士に命じて造らせたものである
- 問13 5世紀ごろ、大和政権（ヤマト王権）の支配が関東地方や九州地方まで及んでいたことを示す歴史資料があります。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に、その名が刻まれていた人物として正しいものを選びなさい。 (2019年 愛媛公立入試 類似)
1. 卑弥呼
 2. ワカタケル大王
 3. 聖徳太子
 4. 中大兄皇子
- 問14 5世紀の朝鮮半島の情勢において、北部に位置する強大な高句麗が南下政策を進める中、倭（日本）と活発に交流を持ち、共同の利害関係にあった朝鮮半島南部の国々の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 群馬公立入試 類似)
1. 百済・新羅
 2. 唐・宋
 3. 高麗・渤海
 4. 隋・契丹

答え合わせ・解説

問1	答え 1 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと	鍵穴のような特有の形状が標準化され、各地で模倣されたことは、その地域の有力者が近畿のヤマト政権と政治的な同盟関係や主従関係を結んでいたことを示しています。これにより、ヤマト政権を中心とした政治体制が広まっていったことがわかります。
問2	答え 2 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、金象嵌によって「獲加多支鹵（ワカタケル）大王」の名が刻まれています。この王は『日本書紀』や『古事記』に登場する雄略天皇にあたると考えられており、5世紀ごろの大和政権の強力な支配力を示す重要な史料となっています。
問3	答え 1 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため	5世紀の古墳時代、倭の五王は中国の南朝に朝貢しました。当時の倭の王は、大陸の強大な王朝から「倭王」としての称号（冊封）を得ることで、自身の権威を国内外に示すとともに、鉄資源の供給地として重要だった朝鮮半島南部における外交的・軍事的な優位性を確保しようと考えました。
問4	答え 1 近畿地方を拠点とする大和政権の政治的な影響力が、地方へと及んでいたこと	古墳時代、近畿地方に拠点を置いた大和政権（ヤマト王権）は、各地の豪族と政治的な同盟を結んだり、支配下に置いたりすることで勢力を拡大しました。前方後円墳という特定の形式の古墳が各地に築かれたことは、その地域の豪族が大和政権の支配体制や序列に組み込まれたことを象徴しています。多賀城は奈良時代の東北経営の拠点であり、国風文化は平安時代の中期に発達した文化であるため、古墳時代の出来事とは異なります。
問5	答え 1 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。	ヤマト王権の王たちは、中国の皇帝から「安東大將軍」などの高い称号を得ることで、日本国内における絶対的な権威を確立しようとししました。また、当時の朝鮮半島では高句麗や新羅、百済が対立しており、その中で軍事的な優位性を国際的に承認させる狙いもありました。
問6	答え 1 埴輪	古墳の周囲や墳丘の上に並べられた土製品を埴輪（はにわ）と呼びます。埴輪には、王の権威を示す役割や、葬儀の儀式の様子を再現する役割があったと考えられています。縄文時代に魔除けや安産を祈願して作られた「土偶」とは、作られた時代や目的が異なるため、混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 1 前方後円墳	3世紀後半の大和地方を中心に現れたこの形式は、円形の後円部と方形の前方部が合体した形状が特徴です。資料などで全長100mを超えるような大規模な古墳として紹介されるものの多くはこの形式であり、当時の王や有力な豪族の権威を象徴するものでした。
問8	答え 1 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。	百舌鳥・古市古墳群は、現在の大阪府堺市、羽曳野市、藤井寺市に広がる古墳群です。4世紀後半から5世紀後半にかけて、当時の王権（ヤマト政権）の王たちの墓として築かれました。
問9	答え 1 大仙古墳	5世紀頃に築造されたこの墳墓は、当時の近畿地方を中心とした勢力のリーダーである「大王（おおきみ）」の墓と考えられています。前方後円墳とは、円形と方形を組み合わせた日本独自の形状を持つ古墳であり、百舌鳥古墳群の中でも最大の規模を誇ります。
問10	答え 1 渡来人によって、須恵器の製作技術や、漢字・儒教・仏教などが日本へ伝えられた。	古墳時代の5世紀前後から、朝鮮半島や中国大陸から移り住んだ「渡来人」は、当時の日本に存在しなかった高度な技術や文化を伝えました。これには、須恵器の製作技術のほか、機織り、金属工芸、さらには漢字や儒教、そして後の飛鳥文化の基盤となる仏教などが含まれます。選択肢にある「国風文化」は平安時代中期、「千歯扱き」は江戸時代の特色であり、この時期の出来事とは一致しません。
問11	答え 1 大王	5世紀の大和政権の盟主は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、雄略天皇にあたるとされる「獲加多支鹵（ワカタケル）」の名とともにこの称号が刻まれており、当時の政治体制を示す貴重な史料となっています。天皇という称号が使われ始めるのは、さらに後の7世紀後半（飛鳥時代）になってからです。
問12	答え 1 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである	「百舌鳥・古市古墳群」に含まれる大山古墳（伝仁徳天皇陵）のような巨大な古墳の造営には、膨大な数の労働者と高度な土木技術、そしてそれらを統制する強力な組織力が必要でした。これは大和政権の最高権力者である「大王」が、広範囲にわたる豪族や民衆を支配下に置いていたことを証明する歴史的背景を持っています。
問13	答え 2 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した文字が刻まれた鉄剣・鉄刀には、大和政権の「ワカタケル大王」という名が記されていました。同一人物の名が刻まれた遺物が関東と九州の双方で見つかったことは、5世紀後半には大和政権の支配力が日本列島の広範囲に及んでいたことを証明する重要な根拠となっています。
問14	答え 1 百済・新羅	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島北部の高句麗が勢力を拡大していました。これに対抗するために、半島の南部に位置した百済や新羅は倭（日本）と結びつきを強め、軍事的な衝突や技術・文化の交流が行われました。この国際関係は、当時の倭王が中国の南朝に朝貢した理由の一つにもなっています。

- 問1 古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治的状況を物語っていますか。（2016年 富山県公立入試 類似）
1. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況
 2. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況
 3. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザインの鏡を輸入した状況
 4. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況
- 問2 4世紀から7世紀にかけて、近畿地方の有力な一族を中心として組織され、日本の大部分を統治した政治組織の仕組みについて述べたものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）
1. 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。
 2. 漢の皇帝から授けられた金印を持つ王が、中国の王朝に対して朝貢を行うことで統治した。
 3. 貴族が摂政や関白の職を独占し、天皇に代わって政治の実権を握る体制がとられた。
 4. 地方の武士が幕府を開き、土地の支配権を保証することで全国の武士を統制した。
- 問3 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 渡来人
 2. 遣隋使
 3. 防人
 4. 御家人
- 問4 大阪府の百舌鳥・古市古墳群に含まれる、三重の濠が巡らされた日本最大の前方後円墳の名称と、それが登録されているユネスコの区分の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 大仙古墳（世界文化遺産）
 2. 大仙古墳（世界自然遺産）
 3. 五色塚古墳（世界文化遺産）
 4. 箸墓古墳（世界文化遺産）
- 問5 近畿地方を中心に現れた、一方が四角形で他方が円形をした鍵穴のような形の古墳が、時代とともに全国各地（東北南部から九州）へと広がっていった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと
 2. 仏教の教えが各地に広まり、新しい埋葬の形式が全国で統一されたこと
 3. 大陸から渡来した人々が、日本各地に共通の墓制を直接伝えたこと
 4. 稲作の技術が全国に普及し、各地の農民が協力して巨大な墓を造ったこと
- 問6 5世紀の日本において、倭の五王と呼ばれる王たちが中国の南朝へ繰り返し使節を送った目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 長野県公立入試 類似）
1. 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため
 2. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に勝利するための軍事同盟を、中国の王朝と結ぶため
 3. 沿岸部で活動し周辺諸国を苦しめていた倭寇を取り締まるよう、中国から要請を受けたため
 4. 平城京を造営するためのモデルとして、中国の都の仕組みを詳しく調査するため
- 問7 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。（2021年 島根県公立入試 類似）
1. 縄文土器
 2. 弥生土器
 3. 須恵器
 4. 土師器
- 問8 古墳時代には、巨大な墳墓の周囲や頂上に、土で作られた焼き物が並べられました。これらには円筒形のもののほか、家、馬、あるいは武具を身につけた人物をかたどったものがありますが、これらを総称して何と呼びますか。（2015年 岡山公立入試 類似）
1. 埴輪
 2. 土偶
 3. 銅鐸
 4. 勾玉
- 問9 3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方だけでなく九州から東北南部までの広い範囲で、同じ「前方後円墳」という形式の古墳が作られた理由として、最も適切なものはどれか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
1. ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。
 2. 中国の皇帝から、日本全土を統一するためにこの形状で墓を作るよう命じられたため。
 3. 稲作の普及により食料が豊富になったため、農作業の休憩所として全国で同じ形が採用されたため。
 4. 仏教の教えに基づき、円形と方形を組み合わせることで死者の供養になると信じられたため。
- 問10 5世紀頃、大和政権は近畿地方から遠く離れた地域まで勢力を拡大しました。各地の有力者の墓（古墳）から、当時の王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀が発見されている事実は、当時の政治体制についてどのようなことを示していますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 地方の有力者が、大和政権を介さず独自に大陸と外交を行っていたこと
 2. 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと
 3. 仏教の伝来によって、全国の有力者が同じ信仰を持つようになったこと
 4. 征夷大將軍が派遣され、東北地方まで完全に平定されたこと
- 問11 4世紀から5世紀にかけて、朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、さらには須恵器の製作技術や鉄器の製造といった高度な文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 渡来人
 2. 防人
 3. 遣唐使
 4. 部民
- 問12 古墳時代の日本列島において、大陸から移住した渡来人が果たした役割と、彼らがもたらした文化的影響について述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2019年 岡山公立入試 類似）
1. 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。
 2. 鉄砲の伝来に寄与し、戦国大名の戦い方や城の構造に劇的な変化をもたらした。
 3. 稲作の技術を初めて伝え、狩猟・採集中心の縄文文化から弥生文化への転換を促した。
 4. 青銅器を用いた祭祀の道具を伝え、卑弥呼が統治する邪馬台国の成立を助けた。
- 問13 古墳が作られていた時代に、中国大陸や朝鮮半島から移り住んできた人々が果たした役割について、技術や文化の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 岡山公立入試 類似）
1. 須恵器の製作技術や金属加工、漢字、仏教などの高度な文化・技術を伝えた。
 2. 唐の優れた制度や文化を直接日本へ持ち帰るため、定期的に使節として派遣された。
 3. 鉄砲やキリスト教を日本に伝え、ヨーロッパとの貿易（南蛮貿易）を主導した。
 4. 九州北部の防備にあたるとともに、防人として東国から徴集された。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況	同じ型から作られた鏡が広範囲で見つかることは、中央の大和政権が中国から入手、あるいは国内で製造した鏡を、自らの権威を認めた地方の有力者に分け与えたことを示唆しています。これにより、大和政権を中心とした政治的な連合や支配体制が、近畿地方から遠隔地へと広がっていった背景を読み取ることができます。
問2	答え 1 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。	4世紀頃に近畿地方を拠点として成立した大和政権は、豪族と呼ばれる有力な一族が連合して形成された組織です。その中心には「大王（おおきみ）」と呼ばれる世襲の王が君臨し、有力な豪族たちは職務を分担して政権を支えました。この体制は、後の律令国家へと発展していく基礎となりました。
問3	答え 1 渡来人	大陸での争乱を避けるために日本に移り住んだ、あるいは大和政権に招かれた人々を指します。彼らは土木、養蚕、機織り、金属加工などの高度な技術のほか、漢字や仏教、儒教といった思想・文化をもたらし、日本が国家としての形を整える上で重要な役割を果たしました。
問4	答え 1 大仙古墳（世界文化遺産）	5世紀の古墳時代中期に築造された大仙古墳は、全長約486メートルを誇る日本最大の古墳です。その圧倒的な規模と独特な形状は、当時のヤマト政権の強力な支配力を示すものと考えられています。2019年には、周辺の古墳とともに「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問5	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと	各地の有力者が大和政権と同じ形式の古墳を築くことは、その有力者が大和政権と政治的な結びつき（同盟や服属）を持っていたことを意味します。このため、前方後円墳の分布範囲を調査することで、当時の大和政権の影響力がどこまで及んでいたかを推測することができます。
問6	答え 1 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため	5世紀の古墳時代、倭の五王は中国の南朝に朝貢しました。当時の倭の王は、大陸の強大な王朝から「倭王」としての称号（冊封）を得ることで、自身の権威を国内外に示すとともに、鉄資源の供給地として重要だった朝鮮半島南部における外交的・軍事的な優位性を確保しようと考えました。
問7	答え 3 須恵器	渡来人は日常生活に密着した技術も多く伝播させました。それまで日本で作られていた土器よりも高い温度で焼成する技術や、ろくろを使用する技法が伝わったことで、より実用的で耐久性の高い器が生産されるようになりました。
問8	答え 1 埴輪	古墳の周囲や墳丘の上に並べられた土製品を埴輪（はにわ）と呼びます。埴輪には、王の権威を示す役割や、葬儀の儀式の様子を再現する役割があったと考えられています。縄文時代に魔除けや安産を祈願して作られた「土偶」とは、作られた時代や目的が異なるため、混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 1 ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。	特定の形状（前方後円墳）が広まったことは、地方の豪族がヤマト政権の支配体制や同盟関係に組み込まれたことを示しています。古墳の形や規模を共有することで、政権内での身分や序列を明確にする役割もありました。
問10	答え 2 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと	大和政権は、軍事力や外交力を背景に地方の首長たちと主従関係を結び、自身の統治体制に組み込んでいきました。有力者の墓から出土した銘文入りの鉄剣などは、地方首長が大和政権に従う代わりに、その土地の支配権を保証されたという政治的な結びつきを証明するものです。これにより、当時の日本列島において広域的な政治連合が形成されていたことがわかります。
問11	答え 1 渡来人	朝鮮半島における戦乱や政治的変動を背景に、日本列島へ移り住んだ人々を指します。彼らがもたらした漢字は記録手段として、儒教は政治理念として、また須恵器や鉄器の製作技術は人々の生活や軍事力を向上させる大きな力となりました。ヤマト王権はこれらの人々を組織に組み込むことで、国家の基盤を固めていきました。
問12	答え 1 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。	渡来人は文字（漢字）の知識だけでなく、養蚕、機織り、土木技術、須恵器の製作など、当時の日本にはなかった高度な技術を伝えました。特に漢字を用いた文書作成能力は、ヤマト政権（大和朝廷）が組織を運営し、大陸の諸国と外交交渉を行う上で欠かせないものとなりました。鉄砲は16世紀、稲作や青銅器は弥生時代以前に伝わったものであり、時期や内容が異なります。
問13	答え 1 須恵器の製作技術や金属加工、漢字、仏教などの高度な文化・技術を伝えた。	渡来人は当時の日本にはなかった高度な技術を多数持っていました。硬くて灰色の土器である「須恵器」の製作、養蚕や機織り、金属の加工といった生産技術のほか、漢字や儒教、仏教などの文字や宗教も彼らを通じて伝えられました。これにより、日本の政治や生活様式は大きく変化しました。

- 問1 中国の歴史書『宋書』倭国伝には、5世紀に中国の南朝へ相次いで使者を送り、自身の地位を認める称号を求めた「讃・珍・済・興・武」という5人の王が登場します。これらの王を総称して何と呼びますか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 倭の五王 2. ヤマトの大王 3. 遣隋使 4. 渡来人
- 問2 古代、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々は、仏教とともに漢字を日本へ伝えました。この、大陸から移住して日本列島の文化や政治に大きな影響を与えた人々を何と呼びますか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 渡来人 2. 防人 3. 御家人 4. 遣隋使
- 問3 3世紀、邪馬台国の女王である卑弥呼は、中国の魏へ使いを送り「親魏倭王」の称号を授かりました。このように、当時の倭の勢力が中国の王朝へ朝貢を行った政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 沖縄公立入試 類似)
1. 中国皇帝の権威を背景にすることで、国内の諸勢力に対する支配力を高めるため 2. 遣唐使を停止したことによる文化的な遅れを取り戻すため 3. キリスト教の布教を阻止するために、中国からの軍事支援を取り付けるため 4. 幕府が定めた禁教政策を東アジア全域に広めるための協力を仰ぐため
- 問4 大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）のような巨大な古墳が築かれた背景や、その特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 墳丘の周囲には三重の堀が巡らされており、王の強大な権力を誇示する目的があったと考えられる。 2. 古墳の表面には、仏教の影響を受けた装飾として、寺院から伝わった瓦が並べられていた。 3. 死者を弔うために、土で人や動物の形を作って焼き上げた土偶が墳丘の周囲に並べられた。 4. 古墳の形状は、日本独自の形式である円墳が採用され、大陸の影響を一切排除して造られた。
- 問5 3世紀後半から6世紀にかけて、北は東北地方から南は九州地方まで、日本列島の広範囲にわたって鍵穴のような独特な形をした巨大な墓が築造されました。このような墓が各地に共通して造られた背景として、当時の政治状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄公立入試 類似)
1. ヤマト王権に従った各地の豪族が、王権との結びつきを周囲に示すとともに、自らの権力を誇示するために築造を認められた。 2. 大陸から渡来した人々が、最新の土木技術を日本各地の民衆に広めるための記念碑として、公共事業の一環で築造した。 3. 大和地方の人口が急激に増加したため、有力な豪族が新天地を求めて東北や九州へ集団移住した際の住居の跡地である。 4. 仏教の伝来とともに、日本全国の豪族が共通の宗教儀礼を行うための寺院の土台として、同じ形状で設計された。
- 問6 5世紀、ヤマト王権の「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に繰り返し使者を送りました。中国側の歴史書『宋書』倭国伝に記されている、彼らが朝貢を通じて中国皇帝に認めてもらおうとした地位や権限とはどのようなものですか。 (2025年 沖縄公立入試 類似)
1. 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権 2. 遣隋使の派遣を永続的に免除される特権 3. 明との間で勘合を用いた貿易を行うための独占的な権利 4. 鎖国体制を維持するために、他国との国交を断絶する公式な許可
- 問7 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。 (2020年 三重公立入試 類似)
1. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。 2. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。 3. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。 4. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。
- 問8 5世紀のヤマト王権の有力者たちは、当時の中国において、政治的な正当性や朝鮮半島での軍事的な立場を認めてもらうために使者を派遣しました。このとき、ヤマト王権が朝貢を行った中国の王朝の総称として正しいものを選択してください。 (2024年 三重公立入試 類似)
1. 南朝 2. 北朝 3. 隋 4. 唐
- 問9 4世紀から7世紀頃にかけて朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住した人々は、それまでの土器とは異なる、黒っぽくて硬い「須恵器」の製作技術や、文字としての「漢字」などを伝えました。このような人々を何と呼びますか。 (2026年 山形公立入試 類似)
1. 渡来人 2. 縄文人 3. 弥生人 4. 防人
- 問10 古墳時代において、近畿地方から始まったとされる前方後円墳が、後に徳島県や香川県など近畿以外の地域でも築かれるようになりました。この「前方後円墳」が普及した主な要因として、当時の政治体制の仕組みから説明したものとして適切なものはどれですか。 (2023年 愛知公立入試 類似)
1. 大和政権と結びついた地方の豪族が、自らの地位や権威を示すために共通の形式で墓を造ったため 2. 班田収授法によって、全国の農民が等しく古墳を築く権利を認められたため 3. 大和政権が全国に国司を派遣し、地方の文化をすべて近畿のものに統一する政策をとったため 4. 地方の豪族が大和政権に対抗するために、あえて近畿とは異なる独自の形式の古墳を築いたため
- 問11 5世紀頃、日本の王たちが中国の皇帝に使節を送った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 鳥取公立入試 類似)
1. 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的な外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。 2. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を制限し、日本独自の国風文化を育むとともに、律令国家の形成を早めるため。 3. 後漢の皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かり、九州北部における小国の連合を束ねる権威を確立するため。 4. 仏教を日本に広めるために、中国から高僧を招くとともに、寺院建築や経典などの進んだ文化を公的に導入するため。
- 問12 5世紀後半の大和政権において、最高権力者が名乗った称号は何ですか。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣に、「獲加多支鹵」という人名に続けて刻まれている名称を答えなさい。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
1. 大王 2. 天皇 3. 将軍 4. 執権
- 問13 千葉県最大級の前方後円墳である内裏塚古墳が築造された古墳時代の中期には、大陸との交流を通じて新しい製作技術が導入されました。この時期に生産が始まった「須恵器」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器 2. 表面に魔除けの意味を持つ縄目の文様をつけた、厚手で黒褐色の土器 3. 弥生土器の流れを汲み、野焼きによって比較的低温で焼かれた赤褐色の土器 4. 青銅を原料として鑄造され、祭祀の道具として用いられた釣鐘型の道具

答え合わせ・解説

問1	答え 1 倭の五王	5世紀に中国へ使者を送った5人の王は「倭の五王」と呼ばれます。当時の日本（倭国）は、東アジアの国際情勢の中で有利な立場を得るため、中国皇帝を中心とした冊封体制（朝貢外交）に加わり、自らの権威や軍事的な指揮権を証明する称号（官職）を求めて外交を展開しました。
問2	答え 1 渡来人	4世紀から5世紀以降、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住んだ人々は、土器の製作、織物、灌漑などの技術とともに、それまで日本にはなかった文字（漢字）や、精神的な教えである仏教をもたらしました。彼らはその知識や技術を活かし、古代国家の形成において重要な役割を果たしました。
問3	答え 1 中国皇帝の権威を背景にすることで、国内の諸勢力に対する支配力を高めるため	3世紀の日本はまだ統一国家ではなく、多くの小国が対立する状況（倭国大乱など）にありました。卑弥呼は中国の強大な王朝である「魏」から称号や金印、銅鏡などを授かることで、その権威を国内に示し、自らの統治能力や地位をより強固なものにしようとした。これは外交を利用した国内統治の強化という側面を持っています。
問4	答え 1 墳丘の周囲には三重の堀が巡らされており、王の強大な権力を誇示する目的があったと考えられる。	古墳時代中期に造られた大仙陵古墳は、鍵穴のような形をした日本独自の「前方後円墳」であり、周囲には三重の堀が巡らされています。このような大規模な土木工事を伴う古墳の建設は、当時の大和政権の王が、膨大な労働力を動員できるほどの強い権力を持っていたことを視覚的に示す役割がありました。なお、古墳に並べられたのは埴輪であり、縄文時代の土偶とは区別されます。
問5	答え 1 ヤマト王権に従った各地の豪族が、王権との結びつきを周囲に示すとともに、自らの権力を誇示するために築造を認められた。	前方後円墳という特定の形状が日本各地に広がった事実は、当時のヤマト王権を中心とした政治的な連合が広範囲に及んでいたことを示しています。各地の有力な豪族は、ヤマト王権の支配体制に組み込まれることで、その象徴である前方後円墳を築く許可を得て、自身の支配権を正当化しました。渡来人の技術は築造に関わっていますが、目的は公共事業ではありません。また、古墳は住居ではなく墓であり、仏教伝来以前の文化です。
問6	答え 1 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権	5世紀になると、ヤマト王権の王たちは「倭の五王（讃・珍・済・興・武）」として中国の南朝に朝貢しました。彼らの主な目的は、日本国内の統一的な支配権を国際的に認めさせることでなく、当時進出を図っていた朝鮮半島南部における外交・軍事的な優位性を確保し、その立場を中国皇帝に正当化してもらうことにありました。
問7	答え 2 ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。	大仙古墳のような巨大な前方後円墳の建設には、延べ数百万人とも言われる膨大な労働力と長い年月が必要でした。これほど大規模な墓を築くことができた事実は、被葬者である大王が近畿地方を中心として、広範囲にわたる民衆や地方の豪族を統制し、支配下に置いていたことを証明しています。
問8	答え 1 南朝	5世紀の中国は、華北を支配する北朝と、江南を支配する南朝に分かれて対立していました。地理的に南に位置する王朝と交流しやすかったヤマト王権は、南朝の諸王朝へ「倭の五王」と呼ばれる王たちが相次いで使者を送り、朝貢を行いました。
問9	答え 1 渡来人	4世紀から7世紀にかけて、大陸の戦乱を避けるなどの理由で日本列島に移り住んだ人々は、当時の日本にはなかった高度な技術や文化を伝えました。彼らが伝えた須恵器は、高温で焼くことができる穴窯（あながま）の技術を用いたもので、それまでの赤褐色の土器よりも硬い性質を持っていました。また、漢字の伝来は、その後の大和政権による記録や行政の仕組みを支える基盤となりました。
問10	答え 1 大和政権と結びついた地方の豪族が、自らの地位や権威を示すために共通の形式で墓を造ったため	前方後円墳の広まりは、大和政権を中心とした政治的な秩序が形成されていたことを裏付けています。地方の豪族は大和政権から認められることで自らの支配権を正当化し、その象徴として大和政権の王と同じ形式の古墳を築きました。班田収授法や国司の派遣は、後の律令時代の制度であり、古墳時代の大和政権による統治体制とは異なります。
問11	答え 1 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的な外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。	5世紀の「倭の五王」は、中国の南朝へ繰り返し使節を派遣しました。当時の倭王は、朝鮮半島における軍事的な指揮権を含む称号を中国の皇帝から授かることで、国際的な地位を確立し、周辺諸国との外交を有利に進める狙いがありました。また、これに伴い鉄製武器の製造技術や須恵器などの新しい技術を大陸から導入し、国内の支配力を高めていきました。
問12	答え 1 大王	5世紀の大和政権の盟主は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、雄略天皇にあたるとされる「獲加多支鹵（ワカタケル）」の名とともにこの称号が刻まれており、当時の政治体制を示す貴重な史料となっています。天皇という称号が使われ始めるのは、さらに後の7世紀後半（飛鳥時代）になってからです。
問13	答え 1 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器	須恵器は、朝鮮半島から伝わった「穴窯（あながま）」という設備を使い、酸素が少ない状態で高温調理（蒸し焼き）にするため、特有の灰色になります。これに対し、同時に使われていた土師器（はじき）は、古墳時代以前からの伝統的な手法である「野焼き」で作られていたため、赤褐色をしています。

- 問1 5世紀の日本において、大和政権が広範囲を支配していたことを示す証拠として、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣があります。この鉄剣には表面に金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれており、そこに見られる、当時の大和政権の王を指す名称として正しいものを選びなさい。
（2014年 和歌山公立入試 類似）
1. 聖徳太子 2. ワカタケル大王 3. 卑弥呼 4. 中大兄皇子
- 問2 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。
（2021年 島根公立入試 類似）
1. 縄文土器 2. 弥生土器 3. 須恵器 4. 土師器
- 問3 大阪府堺市に位置し、三重の堀に囲まれた巨大な鍵穴のような形状を持つ、日本最大級の面積を誇る古墳の名称として正しいものを選びなさい。
（2018年 長崎県公立入試 類似）
1. 大仙（大仙陵）古墳 2. 稲荷山古墳 3. 江田船山古墳 4. 高松塚古墳
- 問4 3世紀後半から古墳時代にかけて造られた、円形の後円部と方形（四角形）の前方部を組み合わせた、上空から見ると鍵穴のような形をしている古墳の名称を答えなさい。
（2018年 長崎県公立入試 類似）
1. 前方後円墳 2. 円墳 3. 方墳 4. 積石塚
- 問5 古墳時代において、特定の地域に限定されず、全国各地で大規模な前方後円墳が築造されたという事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。
（2018年 大分県公立入試 類似）
1. 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。 2. 各地の豪族が、大陸から伝わった最新の墓制を競い合うようにして独自に導入したこと。 3. 仏教の影響が全国に及び、共通の儀礼に基づいた埋葬方法が庶民にまで普及したこと。 4. 狩猟・採集中心の社会から、稲作を中心とする平等な共同体へと社会が変化したこと。
- 問6 中国の歴史書である『宋書』倭国伝には、5世紀に倭の五王が中国へ使者を送ったことが記されています。この「五王」が朝貢（皇帝への貢ぎ物）を行った相手である、当時の中国の勢力を何と呼びますか。
（2024年 大阪公立入試 類似）
1. 南朝 2. 北朝 3. 隋 4. 唐
- 問7 3世紀後半から4世紀にかけての日本列島の歴史において、大規模な古墳の築造が始まった時期の政治状況を説明した文として、最も適切なものはどれか。
（2025年 秋田公立入試 類似）
1. 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。 2. 朝鮮半島から移住した渡来人が、最新の鉄器技術を背景に単独の王朝を打ち立てた。 3. 各地の小国が対等な立場で同盟を結び、銅鐸を共有する祭祀によって平和を保った。 4. 『魏志』倭人伝に記されているように、九州地方を中心とした女王による統治が続いた。
- 問8 大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」に代表される、5世紀ごろに築かれた巨大な前方後円墳についての説明として最も適切なものはどれですか。
（2024年 熊本県公立入試 類似）
1. 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである 2. 鎌倉幕府の将軍が自らの権威を示すために仏教の教えに基づいて建立したものである 3. 律令国家の成立後に、地方を治めるために任命された国司の墓として造られたものである 4. 北条氏が執権としての地位を確立するために、各地の武士に命じて造らせたものである
- 問9 400年頃に倭王が中国へ使いを送っていた記録がある時代から、平城京へと遷都されるまでの期間にかけて、日本列島では大陸との交流が盛んに行われました。この時期の文化や技術の伝来について述べた文として、正しいものを選択してください。
（2023年 愛媛公立入試 類似）
1. 渡来人によって、須恵器の製作技術や、漢字・儒教・仏教などが日本へ伝えられた。 2. 大陸との交流を通じて、源氏物語や枕草子に代表される国風文化が開いた。 3. 大陸から最新の農業技術が伝わり、脱穀のための千歯扱きが全国に普及した。 4. 中国から大量の銅銭が流入したことで、須恵器に代わって貨幣経済が急速に発達した。
- 問10 大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）のような巨大な古墳が築かれた背景や、その特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。
（2020年 東京都公立入試 類似）
1. 墳丘の周囲には三重の堀が巡らされており、王の強大な権力を誇示する目的があったと考えられる。 2. 古墳の表面には、仏教の影響を受けた装飾として、寺院から伝わった瓦が並べられていた。 3. 死者を弔うために、土で人や動物の形を作って焼き上げた土偶が墳丘の周囲に並べられた。 4. 古墳の形状は、日本独自の形式である円墳が採用され、大陸の影響を一切排除して造られた。
- 問11 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。
（2023年 神奈川県公立入試 類似）
1. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。 2. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。 3. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。 4. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。
- 問12 古墳時代の中期から後期にかけて、大陸から伝わった技術や思想が当時の日本に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
（2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。 2. 日本独自の文字である「かな文字」が考案され、古今和歌集のような優れた文学作品が生まれた。 3. 大陸から青銅器の製作技術が伝わり、農耕の収穫を祝うための祭りの道具として普及した。 4. 律令国家の仕組みを確立するため、国家の成り立ちを記した日本書紀などの歴史書が作成された。
- 問13 日本列島の主要な地域を、九州北部、大阪付近、関東の内陸部、四国南東部の4地点に分けたとき、日本最大の前方後円墳である大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）が位置する場所として最も適切なものはどれか。
（2020年 三重公立入試 類似）
1. 九州北部 2. 大阪付近 3. 関東の内陸部 4. 四国南東部
- 問14 日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。
（2024年 滋賀公立入試 類似）
1. 高句麗・百濟・新羅 2. 魏・呉・蜀 3. 隋・唐・宋 4. 渤海・高麗・新羅

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、金象嵌によって「獲加多支鹵（ワカタケル）大王」の名が刻まれています。この王は『日本書紀』や『古事記』に登場する雄略天皇にあたと考えられており、5世紀ごろの大和政権の強力な支配力を示す重要な史料となっています。
問2	答え 3 須恵器	渡来人は日常生活に密着した技術も多く伝播させました。それまで日本で作られていた土器よりも高い温度で焼成する技術や、ろくろを使用する技法が伝わったことで、より実用的で耐久性の高い器が生産されるようになりました。
問3	答え 1 大仙（大仙陵）古墳	堺市にあるこの古墳は、仁徳天皇の墓とも伝えられている日本最大の前方後円墳です。三重の堀に囲まれたその巨大な規模は、当時の大王（おおきみ）が持っていた強大な権力を物語っています。
問4	答え 1 前方後円墳	古墳時代を代表する墓の形式であり、円形と方形を組み合わせた独特の形状が特徴です。当時の有力者の権力の大きさを示す象徴として、近畿地方を中心に全国各地へ広がりました。
問5	答え 1 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。	前方後円墳という日本独自の特定の形式が列島の広い範囲に普及したことは、それらの地域が「大和政権」を中心とする政治秩序の中に組み込まれていたことを意味します。共通の墓の形を採用することは、大和の王との結びつきを周囲に示す重要な手段でもありました。
問6	答え 1 南朝	当時の中国は、南北に王朝が分かれて対立する「南北朝時代」にありました。倭の五王（讃・珍・済・興・武）は、そのうち南側の「宋」などの王朝、すなわち南朝に使者を送りました。北朝は主に華北を支配していた別の勢力であり、隋や唐はのちに中国を統一した、より新しい時代の王朝です。
問7	答え 1 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。	3世紀後半から4世紀ごろになると、近畿地方の有力な豪族たちが中心となり、各地の勢力を結びつけた政治的な連合体が成立しました。これが大和政権（ヤマト王権）であり、その成立と発展は、各地に共通の形式を持つ巨大な古墳が築かれるようになったことから裏付けられます。弥生時代の小国が乱立し、争いを繰り返していた段階から、より広範な地域を統括する仕組みへと移行した重要な時期といえます。
問8	答え 1 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである	「百舌鳥・古市古墳群」に含まれる大山古墳（伝仁徳天皇陵）のような巨大な古墳の造営には、膨大な数の労働者と高度な土木技術、そしてそれらを統制する強力な組織力が必要でした。これは大和政権の最高権力者である「大王」が、広範囲にわたる豪族や民衆を支配下に置いていたことを証明する歴史的背景を持っています。
問9	答え 1 渡来人によって、須恵器の製作技術や、漢字・儒教・仏教などが日本へ伝えられた。	古墳時代の5世紀前後から、朝鮮半島や中国大陸から移り住んだ「渡来人」は、当時の日本に存在しなかった高度な技術や文化を伝えました。これには、須恵器の製作技術のほか、機織り、金属工芸、さらには漢字や儒教、そして後の飛鳥文化の基盤となる仏教などが含まれます。選択肢にある「国風文化」は平安時代中期、「千歯扱き」は江戸時代の特色であり、この時期の出来事とは一致しません。
問10	答え 1 墳丘の周囲には三重の堀が巡らされており、王の強大な権力を誇示する目的があったと考えられる。	古墳時代中期に造られた大仙陵古墳は、鍵穴のような形をした日本独自の「前方後円墳」であり、周囲には三重の堀が巡らされています。このような大規模な土木工事を伴う古墳の建設は、当時の大和政権の王が、膨大な労働力を動員できるほどの強い権力を持っていたことを視覚的に示す役割がありました。なお、古墳に並べられたのは埴輪であり、縄文時代の土偶とは区別されます。
問11	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。	古墳時代において、巨大な前方後円墳を築くには膨大な年月と膨大な人数の労働力が必要でした。このような大規模な土木工事をを行うことができた事実、その被葬者が広範囲に及ぶ支配権と財力を持っていたことを象徴しています。また、前方後円墳という特定の形式が日本各地に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）を中心とした政治的な連合や身分秩序が各地の豪族との間に形成されていたことを示しています。
問12	答え 1 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。	渡来人によってもたらされた技術は多岐にわたります。実生活では、灰色の硬い土器である「須恵器」が作られるようになり、精神面や政治面では、国家の統治原理にもつながる「儒教」や、後に鎮護国家の思想へと発展する「仏教」が伝えられました。他の選択肢にある「かな文字」や「古今和歌集」は平安時代、「青銅器の祭器化」は主に弥生時代、「日本書紀」の完成は奈良時代の出来事であり、時期や内容が異なります。
問13	答え 2 大阪付近	大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）は、大阪府堺市にある百舌鳥古墳群を構成する古墳の一つです。5世紀の日本において、近畿地方に拠点を置いたヤマト政権（大和朝廷）の大王が、各地の豪族を従えるほどの強大な権力を確立していたことを示す重要な史跡です。
問14	答え 1 高句麗・百濟・新羅	朝鮮半島では、北部の高句麗、西部の百済、南東部の新羅の3校が対立し、抗争を繰り返していました。この情勢は当時の日本（倭）の外交や技術導入にも大きな影響を与え、日本は主に百済や加羅（加耶）の地域と結びついて行動していました。